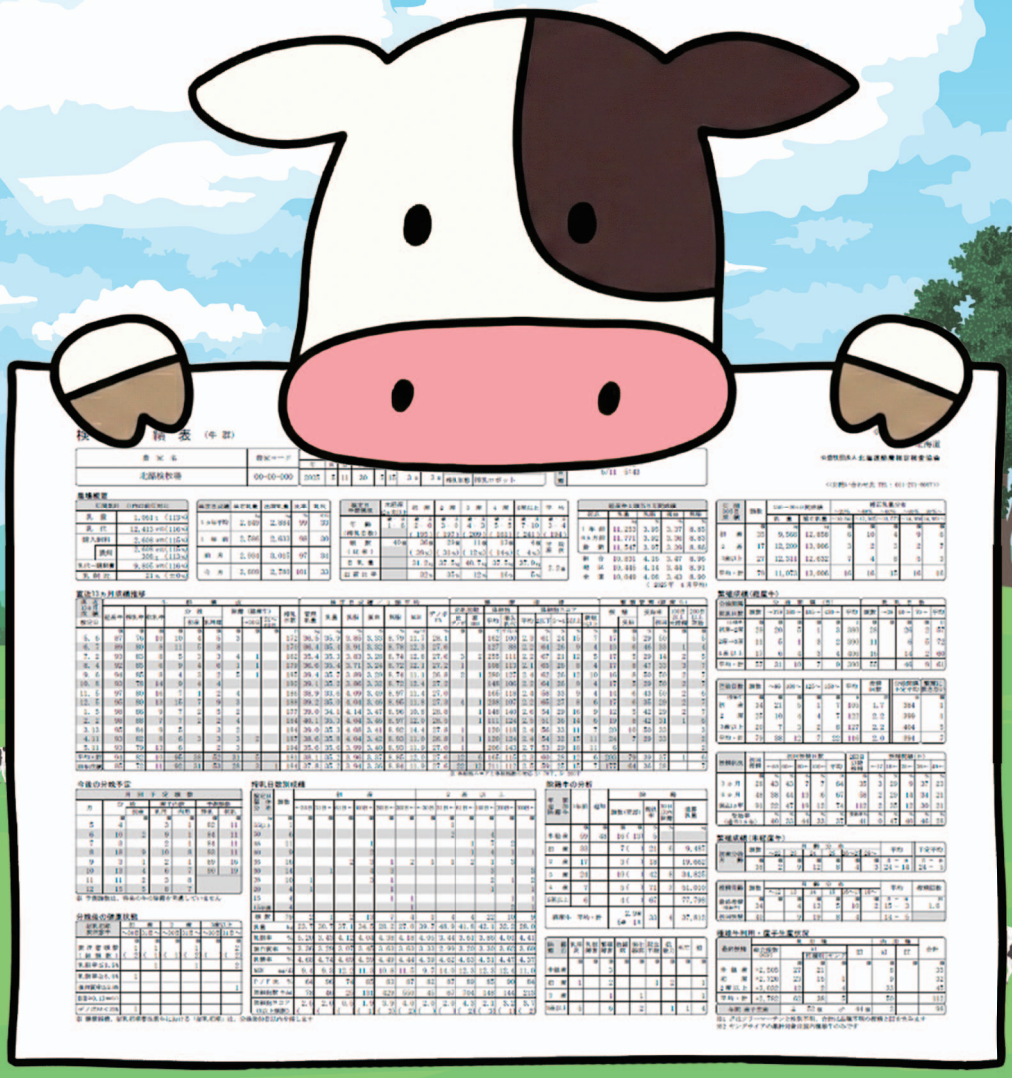
検定成績表の見方と活用



2025 年 12 月 23 日 発行

公益社団法人
北海道酪農検定検査協会
Hokkaido Dairy Milk Recording & Testing Association

検定成績表の見方と活用

【はじめに】

2026 年 1 月から新しい検定成績表に切り替わります。本書は、成績表の構成や掲載情報の基本的な活用方法を解説する資料として作成しました。

近年、生産コストの高止まりや労働力不足、乳牛の疾病・事故の増加などにより、以前に増して生産効率の向上（生産ロスの低減）が求められるようになっています。

成績表には、これら課題に対応するための情報が多く掲載されています。本書の解説に留まらず、ご家族や従業員、支援者の皆様と農場にあった活用方法を見つけていただけますと幸いです。

【目次】

I. 検定成績表（牛群）.....2

A 農場概要.....7
B 直近 13 ヵ月成績推移.....12
C 今後の分娩予定.....19
D 搾乳日数別成績.....20
E 除籍牛の分析.....23
F 繁殖成績.....25
G 種雄牛利用・産子生産状況.....31

II. 個体検定日成績・個体累計成績.....34

個体検定日成績.....34
個体累計成績.....38

III. 用語・略語および検定成績の計算方法.....45

検定成績表（牛群） 各ブロックの概要

A

検　定　成　績　表 （牛 群）

農　家　名	農家コード	今回検定 年	月	日	前回からの日数	発行 月	日	検定～受付	受付～発行	検定方法	
北酪検牧場	00-00-000	2025	5	11	30	5	15	3 日	3 日	飼養形態	フリース
										搾乳形態	

農場概要

年間累計　()内は前年対比		
乳　量		1,061 t （113%）
乳　代		12,413 万円（116%）
購入飼料		2,608 万円（115%）
	濃飼	2,608 万円（115%） 308 t （113%）
乳代－購飼費		9,805 万円（116%）
乳 飼 比		21 %（±0%）

検定日成績	検定乳量 kg	出荷乳量 kg	比率 %	乳代 万円
1ヵ年平均	2,849	2,884	99	33
1 年 前	2,586	2,633	98	30
前 月	2,934	3,015	97	34
今 月	2,809	2,780	101	33

検定日牛群構成	未経産 12ヵ月以上	初 産	2 産	3 産	4
年 齢（搾乳日数）	歳－月 1－6	歳－月 2－0 (195)	3－0 (197)	4－3 (209)	5－ (16
頭 数（比 率）	40 頭	36 頭 (39%)	29 頭 (31%)	11 頭 (12%)	1 (14
日 乳 量		31.2 kg	37.5 kg	40.7 kg	37.
出 荷 比 率		32 %	35 %	12 %	1

直近13ヵ月成績推移

B

直近13ヵ月成績 検定日	牛群構成 経産牛	搾乳牛	乾乳牛	分娩	初産	乳用雌	除籍（経産牛）	～30日	31～60日	搾乳日数	検定日成績／1頭平均 管理乳量	乳量	乳脂	蛋白	無脂	MUN	デノボFA	健 泌乳初期 低デノボ	高BHB	体細 平均
	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	日	kg	kg	%	%	%	mg/dl	%	頭	頭	千
5. 6	87	76	10	10	4	5	3			172	36.5	35.9	3.85	3.33	8.79	11.7	28.1			162
6. 7	89	80	8	11	5	8				170	36.4	35.4	3.91	3.32	8.78	12.3	27.6			127
7. 2	93	83	8	5	3	3	4	1		162	35.4	35.3	3.83	3.28	8.74	12.8	27.6	3	2	255
8. 4	92	85	6	9	4	6	1	1		179	36.6	35.4	3.71	3.24	8.72	12.1	27.2	1		108
9. 6	94	85	8	4	3	2														80
10. 8	93	78	14	9	4	4														48
11. 5	97	80	16	7	1	2														65
12. 5	95	80	13	15	7	9														38
1. 5	98	86	9	7	2	5	2			177	39.0	34.1	4.14	3.47	8.96	10.8	28.8		1	148
2. 2	98	88	7	7	2	2	4			184	40.1	35.3	4.04	3.46	8.97	12.0	28.5		1	111
3.13	95	84	9	5		3	2			184	39.0	35.3	4.08	3.41	8.92	14.4	27.8	1		120
4.11	93	82	8	6	3	3	3	2		187	38.6	35.8	4.04	3.42	8.93	11.0	26.8	1	1	120
5.11	93	79	13	6		2	3			194	35.6	35.6	3.99	3.40	8.93	11.9	27.0	1		206
平均・計	94	82	10	95	38	52	31	5		181	38.1	35.2	3.96	3.37	8.85	12.0	27.6	12	6	165
前年成績	85	72	11	92	31	53	28	3	1	184	37.8	35.2	3.94	3.36	8.84	11.9	27.6	22	12	211

※ 体細胞スコアと体細

B　直近13ヵ月成績推移

各検定日の牛群構成・乳生産・健康指標・繁殖成績

今後の分娩予定

C

月別予定頭数 月	分娩	初産	産子内訳 乳用	肉用	予測頭数 搾乳	乾乳
	頭	頭	頭	頭	頭	頭
5	4		3	1	82	11
6	10	2	9	1	84	11
7	3		2	1	84	11
8	18	9	10	8	93	11
9	3	1	2	1	89	16
					90	19

ません

C　今後の分娩予定

今後8ヵ月間の分娩予定

搾乳日数別成績

D

検定日個体分布 kg	頭数 頭	初産 ～30日	31日～	61日～	100日～	200日～	300日～	2産以上 ～30日	31日～	61日～	100日～	200
55以上	1								1			
50	6								2		4	
45	11				1					1	7	
40	9				2					1	4	
35	16			2	3	1	2	1	1	2	1	
30	14		1		4	3					3	
25	10	1			3	1					2	
20	4	1				1					1	
15	4					1	1					
15未満	4						1					
頭数	79	2	1	2	13	7	4	1	4	4	22	
乳量 kg		23.7	30.7	37.1	34.5	28.2	27.0	39.7	48.9	41.8	42.1	3
乳脂率 %		5.20	3.43	4.12	4.04	4.38	4.18	4.05	3.44	3.61	3.86	4
蛋白質率 %		3.36	3.29	3.07	3.45	3.63	3.63	3.33	2.99	3.20	3.30	3
乳糖率 %		4.68	4.74	4.69	4.59	4.49	4.44	4.59	4.62	4.63	4.51	4
MUN mg/dl		9.4	9.3	12.2	11.3	10.8	11.5	9.7	14.0	12.3	12.3	1
P／F比 %		64	96	74	85	83	87	82	87	89	85	
体細胞数 千/ml		78	46	25	131	429	550	45	67	704	148	
体細胞スコア（5以上頭数）		2.5 ( )	2.0 ( )	0.5 ( )	1.9 (1)	3.9 (3)	4.0 (2)	2.0 ( )	2.0 ( )	4.3 (2)	2.1 (3)	(

分娩後の健康状態

泌乳初期要注意牛	初産 ～30日	31日～	2産 ～30日	31日～	3産以上 ～30日	31日～
	頭	頭	頭	頭	頭	頭
要注意頭数（総頭数）	1 (2)	1 (1)	(1)	1 (2)	( )	2 (2)
乳脂率≦3.5%		1		1		2
乳脂率≧5.0%	1					
蛋白質率≦2.8%						1
BHB≧0.13 mmol/l						
デノボFA＜22%	1					

※ 健康指標、泌乳初期要注意牛における「泌乳初期」は、分娩後60日以内を指します

D　搾乳日数別成績・分娩後の健康状態

最新検定日の詳細な成績・泌乳初期の状況

農場概要

年間の乳生産・牛群構成・個体の能力

トール

搾乳管理	

A

産	5産以上	平均
月 5	歳－月 7－10	歳－月 3－ 4
1)	(241)	(194)
3頭 %)	4頭 (4%)	平均産次
5kg	37.9kg	2.2産
6%	5%	

経産牛1頭当り年間成績				
起点	乳量	乳脂	蛋白	無脂
	kg	%	%	%
1年前	11,253	3.95	3.37	8.85
6ヵ月前	11,771	3.92	3.36	8.83
最新	11,547	3.97	3.39	8.86
組合	10,831	4.16	3.47	8.96
地区	10,445	4.14	3.44	8.91
全道	10,049	4.08	3.43	8.90

(2025年 4月平均)

F 繁殖成績（経産牛・未経産牛）

過去１ヵ年の繁殖成績

<<お問い合わせ先 TEL： 011-271-6057>>

年間305日成績	頭数	240〜305日間成績		補正乳量分布				
		乳量	補正乳量	〜20% 〜10,841	〜40% 〜12,305	〜60% 〜13,573	〜80% 〜14,980	80%〜 14,981〜
	頭	kg	kg	頭	頭	頭	頭	頭
初産	35	9,568	12,858	6	10	4	9	6
2産	17	12,209	13,906	3	2	3	2	7
3産以上	27	12,311	12,632	7	4	8	5	3
平均・計	79	11,073	13,006	16	16	15	16	16

康指標						繁殖管理（経産牛）					
胞	体細胞スコア					授精		受胎率		100日以上未授精	200日以上空胎
損失乳代	平均	2以下	3〜4	5以上	新規5以上		受胎		初回		
千円/月		%	%	%	%	頭	頭	%	%	頭	頭
100	2.3	61	24	15	7	17	5	29	50		5
88	2.2	64	26	9	4	13	6	46	33	1	4
111	2.2	67	21	12	5	17	5	29	14	2	5
113	2.1	65	26	8	4	17	8	47	33	3	7
127	2.4	62	26	12	10	16	8	50	50	2	7
106	2.2	64	26	9	4	17	5	29	50	2	7
118	2.4	58	33	9	4	14	6	43	50	2	6
107	2.2	65	27	8	6	17	6	35	29	2	7
140	2.6	54	29	16	9	12	5	42	29	2	7
124	2.5	51	36	14	6	19	8	42	31	1	6
118	2.4	56	33	11	7	20	10	50	33		3
124	2.4	54	32	15	11	24	7	29	33		2
143	2.7	53	29	18	11	6					2
115	2.3	60	28	12	6	203	79	39	37	1	6
112	2.5	59	25	15	7	177	64	36	28		7

細胞数の対応 2: 70千、5: 283千

繁殖成績（経産牛）

F

分娩間隔 乾乳日数	分娩間隔（日）						乾乳日数				
	頭数	〜379	380〜	405〜	430〜	平均	頭数	〜39	40〜	70〜	平均
(分娩牛)	頭	頭	頭	頭	頭	日	頭	頭	頭	頭	日
初産→2産	29	20	5	1	3	380	28		26	2	57
2産→3産	11	5	1	3	2	390	11		6	5	72
4産以上	17	6	4	3	4	406	16		14	2	60
平均・計	57	31	10	7	9	390	55		46	9	61

空胎日数	頭数	〜99	100〜	125〜	150〜	平均	授精回数	分娩間隔予定平均	繁殖に供さない
(受胎牛)	頭	頭	頭	頭	頭	日	回	日	頭
初産	34	21	5	1	7	105	1.7	384	1
2産	25	10	4	4	7	122	2.2	399	1
3産以上	20	7	3	2	8	127	2.2	404	5
平均・計	79	38	12	7	22	116	2.0	394	7

授精状況	初回授精	初回授精日数					2回目以降授精	授精間隔（日）				
		〜59	60〜	80〜	100〜	平均		〜17	18〜	25〜	36〜	49〜
	頭	%	%	%	%	日	件	%	%	%	%	%
3ヵ月	28	43	43	7	7	64	35	3	29	9	37	23
6ヵ月	48	38	44	13	6	67	58	2	29	14	34	21
過去1ヵ年	91	22	47	19	12	74	112	2	35	12	30	21
受胎率（過去1ヵ年）		% 40	% 33	% 44	% 33	% 37	受胎率% 41	% 0	% 47	% 40	% 46	% 28

日〜	300日〜
頭	頭
2	
1	1
3	
	3
1	2
	1
1	1
2	1
10	9
2.2	28.0
.01	4.41
.62	3.69
.47	4.37
2.4	11.0
90	84
144	213
3.2 1)	3.7 (2)

除籍牛の分析

年間追加除籍牛	1年前	追加	除籍			
			頭数（売却）	淘汰率	30日以内除籍	通算乳量
	頭	頭	頭 頭	%	%	kg
未経産	59	48	16 (13)	5		
初産	33		7 ( )	21	6	9,487
2産	17		3 ( )	18		19,662
3産	24		10 ( )	42	8	34,825
4産	7		5 ( )	71	7	51,010
5産以上	6		4 ( )	67		77,798
経産牛 平均・計			2.9産 5歳 1月	33	4	37,812

E

除籍理由	乳房炎	乳器障害	繁殖障害	肢蹄病	消化器病	起立不能	低能力	死亡	他
	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
未経産			3						
初産	1		2			1	2		1
2産			1		1				1
3産以上	5		6		2		1	1	4

E 除籍牛の分析

産次別の除籍状況・除籍理由　等

繁殖成績（未経産牛）

初産分娩月齢	頭数	月齢分布						平均	予定平均
		〜22	23	24	25	26〜27	28〜		
	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	月－日	月－日
	38	2	9	12	8	4	3	24－14	24－ 5

授精月齢	頭数	月齢分布						平均	授精回数
		〜12	13	14	15	16〜17	18〜		
最終授精（受胎牛）	頭 34	頭	頭 4	頭 13	頭 5	頭 10	頭 2	月－日 15－ 3	回 1.6
初回授精	40		9	19	8	4		14－ 5	

種雄牛利用・産子生産状況

最終授精	乳用種					肉用種		合計
	総合指数（NTP）	AI			ET	AI	ET	
			性選別	ヤング				
		頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
未経産	+2,505	27	21			8		35
初産	+2,726	23	15	1		9		32
2産以上	+3,032	12	2	4		33		45
平均・計	+2,782	62	38	5		50		112
年間 産子生産		♀ 52頭		♂ 44頭		2		98

※1

※2

G

G 種雄牛利用・産子生産状況

種雄牛の利用状況

検定成績表（牛群）レイアウト　※各情報の参照ページを記載しています

検　定　成　績　表　（牛　群）

00-00-000　1 頁
北海道
公益社団法人 北海道酪農検定検査協会
<<お問い合わせ先 TEL：011-271-6057>>

農家名	農家コード	今回検定 年	月	日	前回からの日数	発行 月	日	検定～受付	受付～発行	検定方法	
北酪検牧場	00-00-000	2025	5	11	30	5	15	3 日	3 日	飼養形態	フリーストール
										搾乳形態	

搾乳管理

農場概要

A-1 年間累計 p.7

年間累計 ()内は前年対比	
乳量	1,061 t (113%)
乳代・購飼費	9,805 万円(116%)
乳飼比	21% (±0%)

A-2 検定日成績 p.7

検定日成績	検定乳量 kg	出荷乳量 kg	比率 %	乳代 万円
1カ月平均	2,849	2,884	99	33
今月	2,809	2,780	101	33

A-3 検定日牛群構成 p.8

検定日牛群構成	未経産 12ヵ月以上	初産	2産	3産	4産	5産以上	平均
年齢	歳－月	歳－月	歳－月	歳－月	歳－月	歳－月	歳－月
日乳量		31.2 kg	37.5 kg	40.7 kg	37.5 kg	37.9 kg	2.2 産
出荷比率		32%	35%	12%	16%	5%	

A-4 経産牛1頭当り年間成績 p.9

経産牛1頭当り年間成績	起点	乳量 kg	乳脂 %	蛋白 %	無脂 %
		10,831	4.16	3.47	8.96
地区		10,445	4.14	3.44	8.91
全道		10,049	4.08	3.43	8.90

（2025年 4月平均）

A-5 年間305日成績 p.10

年間305日成績	頭数	240～305日間成績 乳量	補正乳量	補正乳量分布 ～20%	～40%	～60%	～80%	80%～
				～10,841	～12,305	～13,573	～14,980	14,981～
	27	12,311	12,632	7	4	8	5	3
平均・計	79	11,073	13,006	16	16	15	16	16

直近13ヵ月成績推移

B-1 牛群構成 p.13

直近13ヵ月成績 検定日	経産牛	搾乳牛	乾乳牛	分娩 初産	乳用雌	除籍(経産牛) ～30日	31～60日	搾乳日数
	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	日
5. 6	87	76	10	10	4	5	3	172
6	89	80	8	11	5	8		170
10	93	78	14	9	4	4		192
11. 5	97	80	16	7	1	2	4	186
12. 5	95	80	13	15	7	9	3	188
1. 5	98	86	9	7	2	5	2	177
2. 2	98	88	7	7	2	2	4	184
3. 13	95	84	9	5		3	2	184
4. 11	93	82	8	6	3	3	2	187
5. 11	93	79	13	6		2	3	194
平均・計	94	82	10	95	38	52	31	5	181
前年成績	85	72	11	92	31	53	28	3	1	184

B-2 検定日成績/1頭平均 p.14

検定日成績／1頭平均	管理乳量 kg	乳量 kg	乳脂 %	蛋白 %	無脂 %	MUN mg/dl	デノボFA %
5. 6	36.5	35.9	3.85	3.33	8.79	11.7	28.1
6	36.4	35.4	3.91	3.32	8.78	12.3	27.6
10	39.[illegible]	[illegible]	3.86	3.32	8.72	12.4	27.2
11. 5	38.9	33.6	4.09	3.49	8.97	11.4	27.0
12. 5	39.2	35.0	4.04	3.46	8.95	11.8	27.3
1. 5	39.0	34.1	4.14	3.47	8.96	10.8	28.8
2. 2	40.1	35.3	4.04	3.46	8.97	12.0	28.5
3. 13	39.0	35.3	4.08	3.41	8.92	14.4	27.8
4. 11	38.6	35.8	4.04	3.42	8.93	11.0	26.8
5. 11	35.6	35.6	3.99	3.40	8.93	11.9	27.0
平均・計	38.1	35.2	3.96	3.37	8.85	12.0	27.6
前年成績	37.8	35.2	3.94	3.36	8.84	11.9	27.6

B-3 健康指標 p.15-p.17

健康指標	泌乳初期 低デノボ	高BHB	体細胞 平均	損失乳代	体細胞スコア 平均	2以下	3～4	5以上	新規5以上
	頭	頭	千	千円/月		%	%	%	%
5. 6			162	100	2.3	61	24	15	7
6			127	88	2.2	64	26	9	4
10			148	100	2.2	64	26	9	4
11. 5			165	118	2.4	58	33	9	4
12. 5	4	1	238	107	2.2	65	27	8	6
1. 5		1	148	140	2.6	54	29	16	9
2. 2		1	111	124	2.5	51	36	14	6
3. 13	1		120	118	2.4	56	33	11	7
4. 11	1	1	120	124	2.4	54	32	15	11
5. 11			206	143	2.7	53	29	18	11
平均・計	12	6	165	115	2.3	60	28	12	6
前年成績	22	12	211	112	2.5	59	25	15	7

※ 体細胞スコアと体細胞数の対応 2：70千、5：283千

B-4 繁殖管理(経産牛) p.18

繁殖管理(経産牛)	授精	受胎	受胎率	初回	100日以上未授精	200日以上空胎
	頭	頭	%	%	頭	頭
5. 6	17	5	29	50		5
6	14	6	46	33	1	4
10	14	5	29	50	2	7
11. 5	14	6	43	50	2	6
12. 5	17	6	35	29	2	7
1. 5	12	5	42	29	2	7
2. 2	19	8	42	31	1	6
3. 13	20	10	50	33		3
4. 11	24	7	29	33		2
5. 11	6					2
平均・計	203	79	39	37	1	6
前年成績	177	64	36	28		7

繁殖成績(経産牛)

F-1 分娩間隔 乾乳日数 p.26

分娩間隔 乾乳日数 (分娩牛)	分娩間隔(日) 頭数	～379	380～	405～	430～	平均	乾乳日数 頭数	～39	40～	70～	平均
	頭	頭	頭	頭	頭	日	頭	頭	頭	頭	日
初産→2産	29	20									
2産→3産	11										
4産以上	17	6									
平均・計	57	31		7	9	390	55		46	9	61

F-2 空胎日数 p.27

空胎日数 (受胎牛)	頭数	～99	100～	125～	150～	平均	授精回数	分娩間隔予定平均	繁殖に供さない
	頭	頭	頭	頭	頭	日	回	日	頭
初産	34	21							
2産	25								
3産以上	20								
平均・計	79	38		7	22	116	2.0	394	7

F-3 授精状況 p.28-p.29

授精状況	初回授精 頭数	初回授精日数 ～59	60～	80～	100～	平均	2回目以降授精 件	授精間隔(日) ～17	18～	25～	36～	49～
	頭	%	%	%	%	日		%	%	%	%	%
3ヵ月	28	43										
6ヵ月	48											
過去1ヵ年	91	22										
受胎率(過去1ヵ年)		40	33	44	33	37	41	0	47	40	46	28

繁殖成績(未経産牛)

F-4 初産分娩月齢 p.30

初産分娩月齢	頭数	
	頭	
	38	2

F-5 授精月齢 p.30

授精月齢	頭数	～12
最終授精(受胎牛)	34	
初回授精	40	

今後の分娩予定

C-1 月別予定頭数 p.19

月	分娩 初産	産子内訳 乳用	肉用	予測頭数 搾乳	乾乳
	頭	頭	頭	頭	頭
5	4		3	1	82	11
10	2		9	1	84	11
11	13	4	6	7	90	19
11	11	2	3	8		
12	15	5	8	7		

※ 予測頭数は、将来の牛の除籍を考慮していません

搾乳日数別成績

D-1 検定日個体分布 p.20-p.21

検定日個体分布	頭数	初産 ～30日	31日～	61日～	100日～	200日～	300日～	2産以上 ～30日	31日～	61日～	100日～	200日～	300日～
	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
55以上	1								1				
50	6								2		4		
45	[illegible]												
40	[illegible]												1
35	[illegible]												
30	[illegible]												3
25	10	1			3	1					2	1	2
20	4	1				1					1		1
15	4					1	1					1	1
15未満	4						1					2	1
頭数	79	2	1	2	13	7	4	1	4	4	22	10	9
乳量 kg		23.7	30.7	37.1	34.5	28.2	27.0	39.7	48.9	41.8	42.1	32.2	28.0
乳脂率 %		5.20	3.43	4.12	4.04	4.38	4.18	4.05	3.44	3.61	3.86	4.01	4.41
蛋白質率 %		3.36	3.29	3.07	3.45	3.63	3.63	3.33	2.99	3.20	3.30	3.62	3.69
乳糖率 %		4.68	4.74	4.69	4.59	4.49	4.44	4.59	4.62	4.63	4.51	4.47	4.37
MUN mg/dl		9.4	9.3	12.2	11.3	10.8	11.5	9.7	14.0	12.3	12.3	12.4	11.0
P／F比 %		64	96	74	85	83	87	82	87	89	85	90	84
体細胞数 千/ml		78	46	25	131	429	550	45	67	704	148	144	213
体細胞スコア (5以上頭数)		2.5 ( )	2.0 ( )	0.5 ( )	1.9 (1)	3.9 (3)	4.0 (2)	2.0 ( )	2.0 ( )	4.3 (2)	2.1 (3)	3.2 (1)	3.7 (2)

分娩後の健康状態

D-2 泌乳初期要注意牛 p.22

泌乳初期要注意牛	初産 ～30日	31日～	2産 ～30日	31日～	3産以上 ～30日	31日～
	頭	頭	頭	頭	頭	頭
要注意頭数 (総数)	1 (2)	1 (1)	1 (1)	1 (2)	( )	2 (2)
[illegible]						
蛋白						
BHB≧0.13 mmol/l						
デノボFA<22%	1					

※ 健康指標、泌乳初期要注意牛における「泌乳初期」は、分娩後60日以内を指します

除籍牛の分析

E-1 年間追加除籍牛 p.23-p.24

年間追加除籍牛	1年前	追加	除籍 頭数(売却)	淘汰率	30日以内除籍	通算乳量
	頭	頭	頭	%	%	kg
未	59	48	16 (12)	5		
[illegible]						87
[illegible]						62
3産	24		10 ( )	42	8	34,825
4産	7		5 ( )	71	7	51,010
5産以上	6		4 ( )	67		77,798
経産牛 平均・計			2.9産 5歳 1月	33	4	37,812

E-2 除籍理由 p.24

除籍理由	乳房炎	乳器障害	繁殖障害	肢蹄病	消化器病	起立不能	低能力	死亡	他
	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
[illegible]									
[illegible]									1
[illegible]		1		1					1
3産以上	5		6		2		1	1	4

種雄牛利用・産子生産状況

G-1 最終授精・年間 産子生産 p.31

最終授精	乳用種 総合指数(NTP)	AI 性選別	AI ヤング	ET	肉用種 AI	ET	合計
		頭	頭	頭	頭	頭	頭
未経産	+2,505						35
初産	+2,72[illegible]						32
2産以上	+3,032						45
平均・計	+2,782		38	5		50		112
年間産子生産	♀ 52 頭			♂ 44 頭		2		98

※1 ♂はフリーマーチンと性別不明、合計は品種不明の授精とETを含みます
※2 ヤングサイアの集計対象は国内種雄牛のみです

Ⅰ.　検定成績表（牛群）

A-1 農場概要 － 年間累計

検定で報告された１年間の累計記録を掲載しています（乳生産・飼料給与）。カッコ内の数値を見れば前年（1 年間）との比較ができます。

ここで乳代と飼料の購入費を把握し、利益額を大まかにつかみましょう。

乳量
過去１ヵ年の累計乳量

乳代
過去１ヵ年の累計乳代

購入飼料
過去１ヵ年における濃厚飼料と粗飼料の購入費用
「濃飼」に濃厚飼料のみの購入費用と量を掲載

乳代－購飼費
過去１ヵ年の累計乳代と購入飼料費の差

乳飼比
過去１ヵ年の累計乳代において購入飼料費が占める割合

農場概要

年間累計	()内は前年対比
乳　量	1, 132 t （102 %)
乳　代	13, 017 万円 (105 %)
購入飼料	1, 685 万円 (100 %)
濃飼	1, 585 万円 (100 %) 287 t （100 %)
乳代－購飼費	11, 332 万円 (105 %)
乳 飼 比	13 % （ −1 %)

A-2 農場概要 － 検定日成績

検定日における総乳量、出荷乳量、乳代を掲載しています。今月の検定乳量を前月や１年前（前年同月）と比較し、増減を把握しましょう。

検定乳量
検定で報告された１日の総乳量

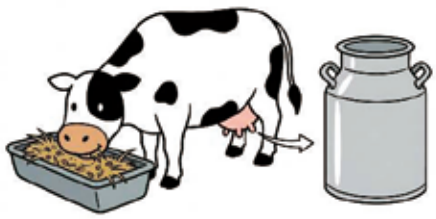
出荷乳量
検定で報告された１日の出荷乳量
※自家消費を含む

比率
出荷乳量に対する検定乳量の比率

乳代
検定日の総乳代

過去 → 現在

検定日成績	検定乳量	出荷乳量	比率	乳代
	kg	kg	%	万円
1ヵ年平均	3, 061	2, 982	103	35
1　年　前	2, 964	2, 796	106	34
前　月	3, 264	3, 037	107	37
今　月	3, 271	3, 339	98	37



A-3 農場概要 － 検定日牛群構成

検定日における、各産次の牛の頭数割合と生産状況を掲載しています。各産次の牛の活躍度合いを把握できます。

年齢（搾乳日数）
未経産 12 ヵ月以上は検定時の平均月齢
初産～5 産以上は分娩時の平均月齢
搾乳日数は各産次の平均分娩後日数

頭数（比率）
検定日における産次ごとの頭数と全体に占める割合

検定日牛群構成	未経産 12ヵ月以上	初　産	2　産	3　産	4　産	5産以上	平　均
年　齢（搾乳日数）	歳－月 1－6	歳－月 2－1 (225)	歳－月 3－2 (196)	歳－月 4－5 (212)	歳－月 5－5 (222)	歳－月 7－4 (181)	歳－月 3－9 (209)
頭　数（比率）	95頭	92頭 (35%)	62頭 (23%)	46頭 (17%)	33頭 (12%)	32頭 (12%)	平均産次
日乳量		32.6kg	40.6kg	38.6kg	41.5kg	42.8kg	2.5産
出荷比率		28%	27%	19%	12%	14%	

平均産次
検定日における牛群全体の平均産次

日乳量
検定日の日乳量の産次別平均

出荷比率
検定日の総乳量において、各産次の合計乳量が占める割合

頭数（比率） － 各産次が全体に占める割合

各農家で理想とする牛群構成があると思います。実際の牛群構成と理想の差を確かめましょう。
また、特に頭数が少ない産次がある場合は、理由を確認しましょう。

関連項目：除籍理由を確認
E-1 2 除籍牛の分析 p.23-p.24

搾乳日数と日乳量 － セットで確認

日乳量は泌乳ステージの偏りによっても変動します（泌乳ピークの牛が多い、泌乳後期の牛が多いなど）。そのため、日乳量は搾乳日数とセットで確認しましょう。
個体のばらつきを見たい場合は【検定日個体分布】へ！

関連項目
D-1 検定日個体分布 p.20-p.21

出荷比率 － 生乳生産の主力となっている産次を確認

農場で一番搾れている産次はどこか、他に比べて搾れていない産次がないか確認しましょう。

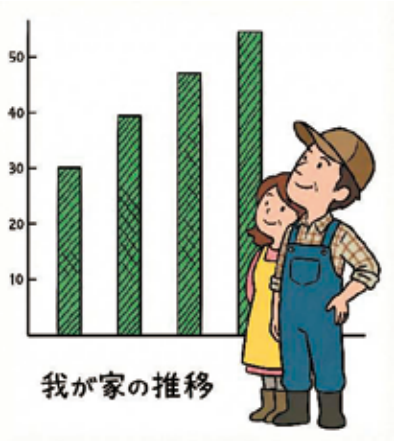
A-4 農場概要 － 経産牛 1 頭当り年間成績

検定当月、検定の 6 ヵ月前、検定の 1 年前を起点とし、そこから過去 1 ヵ年を遡って集計した成績を掲載しています。経産牛 1 頭を 1 年間飼養した際に得られる生産量を把握できます。

経産牛 1 頭当り年間成績

	起　点	乳　量	乳脂	蛋白	無脂
		kg	%	%	%
過去	1　年　前	11, 982	4. 02	3. 44	8. 92
	6 ヵ 月 前	12, 019	3. 96	3. 50	8. 99
現在	最　新	11, 988	3. 93	3. 52	9. 03
	組　合	10, 160	4. 08	3. 46	8. 92
	地　区	9, 811	4. 06	3. 43	8. 88
	全　道	9, 983	4. 07	3. 42	8. 89

（ 2024 年 12 月平均）



組合・地区・全道
農家が属する組合と地区、および全道の平均値
いずれも集計月から遡って 1 年分の平均値

農場の今をつかみ、これからを予測！

過去から現在にかけて値が伸びているか確認するとともに、自農場の値を組合・地区・全道の平均値と比較してみましょう。
また、最新の欄の乳量に、飼養中の経産牛頭数を掛ければ、今後 1 年間で出荷できる乳量を大まかに予測できます。この値を目標とする乳量と比べれば、飼養頭数や経産牛 1 頭あたりの乳量をどの程度増やすかについての判断材料となります。

関連項目:飼養中の経産牛頭数を確認
B-1 牛群構成 p.13

305 日乳量と比べてみよう！

繁殖が悪いと、乾乳日数や泌乳日数が長期化した牛（＝乳量が低下した牛）が多くなります。この場合、個体の産乳能力を示す305日乳量が高かったとしても、経産牛1頭当り年間乳量は伸び悩む可能性があります。その場合は【繁殖成績（経産牛）】を確認し、繁殖管理の課題を見つけましょう。

関連項目：305 日乳量を確認
A-5 年間 305 日成績 p.10
関連項目
F-1 2 3 繁殖成績（経産牛） p.25-p.29

A-5 農場概要 - 年間305日成績

経産牛全体と産次別の 305 日乳量と補正乳量を掲載しています（最近 1 ヵ年に乳期が完了した牛が対象）。個体の産乳能力を産次ごとに把握できます。

乳量（240～305日間成績）
305日間の乳量または、1乳期の乳量（検定日数240日～304日で乳期完了牛）の平均

補正乳量（240～305日間成績）
全牛が 72 ヵ月齢分娩と仮定して補正計算した乳量の平均
※成牛換算として異なる産次の能力を比較できる

年間305日成績	頭数	240～305日間成績		補正乳量分布				
				～20%	～40%	～60%	～80%	80%～
		乳量	補正乳量	～10, 532	～11, 041	～12, 096	～13, 069	13, 070～
	頭	kg	kg	頭	頭	頭	頭	頭
初産	10	9, 459	12, 716		1	1	4	4
2産	7	9, 772	11, 565	1	2	2	1	1
3産以上	7	10, 149	10, 675	4	2	1		
平均・計	24	9, 751	11, 785	5	5	4	5	5

補正乳量分布
全ての経産牛を補正乳量で順位付けし、下位から上位まで 5 区分したときの分布（産次別、全体）
※区切りとなる値は毎月変動し、農場によって異なる

補正乳量（成牛換算）- 産次ごとの産乳能力を比較

産次が若いほど改良が進んでいるため、補正乳量も高いのが理想です。
補正乳量が極端に低い産次があった場合は、その産次特有の問題が管理面で起きていないか確認しましょう。問題が見つからないようであれば、【最終授精】の未経産の欄を見て改良が適切に行われているか、若い牛から後継牛を作出しているかをチェックしましょう。

例えば、初産が低い場合は、育成期の管理や改良方針に問題があるかもしれません。牛群内でのいじめや食い負けなどが起きている可能性もあります。

関連項目
G-1 最終授精 p.31

補正乳量分布 – 牛群全体や産次内のばらつきを見る

産次内で順位のばらつきが小さいと、牛群を管理しやすくなります。また、初産の牛が多く上位に分布していると、順調に改良が進んでいるといえるでしょう。
※高産次に特に優秀な牛のみを残している場合、3 産以上の牛が多く上位層に分布することもあります。

乳検の知恵袋

「○○乳量」が多すぎる！

乳検で得られるデータの中には、出荷乳量、補正乳量、管理乳量…のように、○○乳量という語が多く登場します。ここで大まかに整理しましょう。

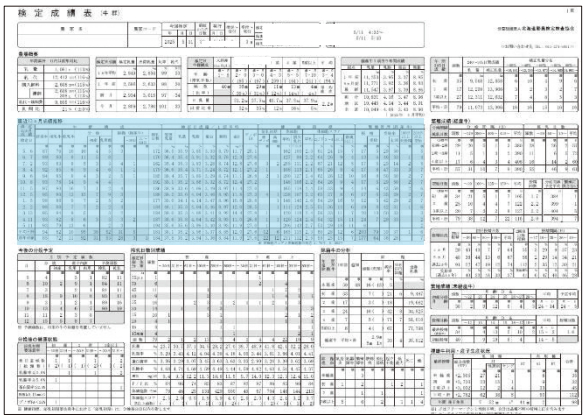
名称	説明	掲載箇所	個体	牛群
①検定日乳量	検定当日（1日分）の乳量	A-2 B-2 個体検定日	○	○
②管理乳量	検定日乳量に補正をかけたもの 飼養管理の状況を推測するのに適している	B-2	×	○
③305 日乳量	分娩後305日間の累積乳量 日数を区切ることで、搾乳日数の長短の影響を受けずに乳量を比較できる 【Q：どうして305日なのか】 平均乾乳日数が約60日なので、1年1産を達成した場合、泌乳期間は1年のうち305日だと仮定できるから	A-5 個体累計	○	○
④補正乳量	全ての牛が72ヵ月齢で分娩したとみなし、305日乳量に補正をかけたもの 成牛換算乳量とも呼ばれ、異なる産次の牛の乳量を比較するのに適している	A-5 個体累計	○	○
⑤年間乳量	各月の検定乳量を基に、1年間の乳量を推計したもの	A-1 A-4	×	○
⑥通算乳量	除籍までに搾った総乳量 牛が生涯で農場にどれだけ貢献したかを測れる	E-1 個体累計	○	○
⑦出荷乳量	検定時に報告された、バルク出荷乳量（1日当り）	A-2	×	○

・各個体の値が載っている場合、個体の欄に○がついています。
・牛群の合計値もしくは平均値が載っている場合、牛群の欄に○がついています。

これら乳量は 1 日間→305 日間→1 年間→生涯とタイムスパンこそ異なりますが、個体・牛群の様子を知るための重要な数値です。意味を理解して活用すれば、成績表を通して見える世界がグッと広がります。掲載箇所の解説ページや巻末の計算方法も参照し、日々の実践の中でご活用ください。

B-1 2 3 4 直近 13 ヵ月成績推移

最新検定日を含む、過去 13 回の検定日の集計値（牛群平均・頭数 等）を掲載しています。



＜掲載項目＞

B-1 牛群構成 p.13
B-2 検定日成績/1 頭平均 p.14
B-3 健康指標 p.15-p.17
B-4 繁殖管理（経産牛） p.18

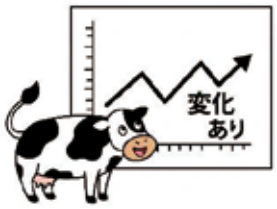
過去から現在にかけてのトレンドを把握

「①最新の成績」・「②前月の成績」・「③1 年前の成績」を比較してみましょう。
牛群構成・生産実績・繁殖成績の変化から、1 年間の管理状況を振り返ることができます。

	直近13ヵ月成績 検定日	牛群構成 経産牛	搾乳牛	乾乳牛	分娩	初産	乳用雌	除籍（経産牛）	～30日	31～60日	搾乳日数	
		頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	日	
過去 ③	5. 6	87	76	10	10	4	5	3			172	3
	6. 7	89	80	8	11	5	8				170	3
	7. 2	93	83	8	5	3	3	4	1		162	3
	8. 4	92	85	6	9	4	6	1	1		179	3
	9. 6	94	85	8	4	3	2	5	1		185	3
	10. 8	93	78	14	9	4	4				192	3
	11. 5	97	80	16	7	1	2	4			186	3
	12. 5	95	80	13	15	7	9	3			188	3
	1. 5	98	86	9	7	2	5	2			177	3
	2. 2	98	88	7	7	2	2	4			184	4
	3. 13	95	84	9	5		3	2			184	3
②	4. 11	93	82	8	6	3	3	3	2		187	3
現在 ①	5. 11	93	79	13	6		2	3			194	3
④	平均・計	94	82	10	95	38	52	31	5		181	3
	前年成績	85	72	11	92	31	53	28	3	1	184	3

④ 今年 1 年と前年の成績比較

「今年 1 年の平均・計」と「前年成績」を比較することで、年単位の管理の変化を把握できます。



B-1 直近 13 ヵ月成績推移 － 牛群構成

各検定日における牛群構成、牛の動態（分娩・除籍頭数）を掲載しています。

経産牛・搾乳牛・乾乳牛
検定日における牛群の構成
（搾乳牛には検定中止牛を含む）
各月の分娩（増加）と 除籍（減少）を反映

分 娩
各月の分娩頭数（初産と乳用雌は内数）
「経産牛」に加わった頭数

除 籍（経産牛）
各月の除籍頭数
（分娩後 30 日以内、31～60 日の除籍頭数は内数）

搾乳日数
検定日における分娩後日数の平均
（搾乳牛）

直近13ヵ月成績 検定日	牛群構成 経産牛	搾乳牛	乾乳牛	分娩	初産	乳用雌	除籍（経産牛）	～30日	31～60日	搾乳日数
	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	日
5. 10	85	72	13	1		1	2			207
6. 4	83	68	15	6		3	2			225
7. 3	81	59	21	12	2	4	2	1		195
8. 7	81	62	17	12	3	7	2			173
9. 4	82	66	11	14	3	8	2	1	1	153
10. 9	82	73	9	3	2		2			153
11. 8	84	75	7	14	7	7	2			170
12. 6	88	80	8	1	1					153
1. 11	89	78	11	4		4	1			175
2. 4	88	79	9	5	2	3	3			188
3. 4	87	78	8	9	3	3	4			192
4. 11	85	78	5	3		2	3			189
5. 8	84	79	5	4	3	1	1			208
平均・計	85	72	11	84	23	42	25	2	1	181
前年成績	80	69	9	77	23	38	19	3	1	187

分娩後間もない**除籍（30 日以内）**に要注意！

分娩後間もない除籍の多くは意図しない除籍です。
この頭数が増えている場合、周産期の管理に問題があると疑われます。
周産期疾病などのトラブル発生状況を確認しましょう。

関連項目：産次別の除籍状況
E-1 年間追加除籍牛 p.23-24

関連項目：分娩後の要注意牛の推移
B-3 健康指標 p.15

搾乳日数で繁殖状況をチェック！

繁殖管理が順調にいっていない場合、搾乳日数が徐々に大きくなります（季節繁殖を除く）。
① 数字が大きい → 泌乳**後期**の牛が増加（乳量の減少・体細胞数の増加・過肥牛増加など）
② 数字が小さい → 泌乳**前期**の牛が増加（乳量の一時的な増加）

【参考】全道の平均 191 日（2025 年 5 月）

B-2 直近 13 ヵ月成績推移 – 検定日成績/1 頭平均

各検定日の乳量、管理乳量、乳成分を掲載しています（1 頭あたり平均）。

直近13ヵ月成績 検定日	検定日成績／1頭平均 管理乳量	乳量	乳脂	蛋白	無脂	MUN	デノボFA
	kg	kg	%	%	%	mg/dl	%
5. 6	36. 5	35. 9	3. 85	3. 33	8. 79	11. 7	28. 1
6. 7	36. 4	35. 4	3. 91	3. 32	8. 78	12. 3	27. 6
7. 2	35. 4	35. 3	3. 83	3. 28	8. 74	12. 8	27. 6
8. 4	36. 6	35. 4	3. 71	3. 24	8. 72	12. 1	27. 2
9. 6	39. 4	35. 7	3. 89	3. 29	8. 74	11. 1	26. 8
10. 8	39. 1	35. 2	3. 86	3. 32	8. 72	12. 4	27. 2
11. 5	38. 9	33. 6	4. 09	3. 49	8. 97	11. 4	27. 0
12. 5	39. 2	35. 0	4. 04	3. 46	8. 95	11. 8	27. 3
1. 5	39. 0	34. 1	4. 14	3. 47	8. 96	10. 8	28. 8
2. 2	40. 1	35. 3	4. 04	3. 46	8. 97	12. 0	28. 5
3. 13	39. 0	35. 3	4. 08	3. 41	8. 92	14. 4	27. 8
4. 11	38. 6	35. 8	4. 04	3. 42	8. 93	11. 0	26. 8
5. 11	35. 6	35. 6	3. 99	3. 40	8. 93	11. 9	27. 0
平均・計	38. 1	35. 2	3. 96	3. 37	8. 85	12. 0	27. 6
前年成績	37. 8	35. 2	3. 94	3. 36	8. 84	11. 9	27. 6

乳量
検定日乳量の平均

管理乳量
全搾乳牛の条件を「2 産次･搾乳日数 150 日･4 月分娩･分娩月齢 36～38 ヵ月」に補正した乳量
検定日間の飼養管理の変化を確認できる

乳成分の 1 頭平均（加重平均）

乳脂･蛋白･無脂
乳価に影響する乳成分

MUN
飼料給与（蛋白・エネルギー）バランスの指標

デノボ FA（デノボ脂肪酸）
ルーメンの健康度・体脂肪動員の指標

最新検定日の成績を深掘りしましょう

産次別の平均乳量を比較する
・各産次で期待どおりの乳量になっているか？

産次、泌乳ステージのグループで乳量を比較する
・問題の起きているグループがないか？

関連項目：産次別の検定日乳量を比較
A-3 検定日牛群構成 p.8

関連項目：泌乳グループ別の乳量･乳成分を確認
D-1 検定日個体分布 p.20-p.21

管理乳量･･･乳量の増減だけで飼養管理方法を評価していませんか？

管理乳量では、単純な乳量の増減では判断できない **「飼養管理の良し悪し」** を推測できます。
「前月から大きく低下した」「前年同月より低い」等の場合は、飼養管理方法を点検しましょう。

例えば、泌乳前期の牛が増えると乳量の平均は増加しますが、管理乳量が逆に低下した場合は、飼養管理に何らかの問題があったと推察できます。

B-3 直近 13 ヵ月成績推移 – 健康指標 ① 泌乳初期 低デノボ･高 BHB

牛の健康に関する情報のうち、泌乳初期の要注意牛の頭数を集計しています。

直近13ヵ月成績	健康指標								
	泌乳初期		体細胞		体細胞スコア				
検定日	低デノボ	高BHB	平均	損失乳代	平均	2以下	3～4	5以上	新規5以上
	頭	頭	千	千円/月		%	%	%	%
5. 6			61	49	1.6	70	26	4	1
6. 7			90	49	1.8	66	26	7	3
7. 2			68	53	1.7	67	28	5	4
8. 4	3	3	132	66	1.9	67	28	5	3
9. 6	2	4	94	58	1.7	68	23	9	6
10. 8	1	1	112	70	1.7	68	25	7	3
11. 5	1		106	79	1.8	67	21	12	7
12. 5	3	4	201	119	2.1	63	25	13	4
1. 5	1	1	97	82	1.9	67	23	10	5
2. 2			143	75	1.9	68	22	10	5
3. 13	1	1	102	70	1.8	71	19	11	1
4. 11	1		93	68	1.6	74	18	8	1
5. 11	1	2	66	63	1.6	75	20	5	3
平均・計	12	13	111	70	1.8	68	23	9	4
前年成績	10	15	153	79	2.1	64	25	11	6

泌乳初期（低デノボ・高 BHB）

泌乳初期（分娩後 60 日以内）で体調不良･疾病の疑いがある頭数

- **低デノボ**
  デノボ FA が 22%未満
- **高 BHB**
  BHB が 0.13mmol/L 以上

最新検定日の管理状況を確認しましょう
（初産･2 産･3 産以上の 3 グループ）

関連項目
D-2 泌乳初期要注意牛 p.22

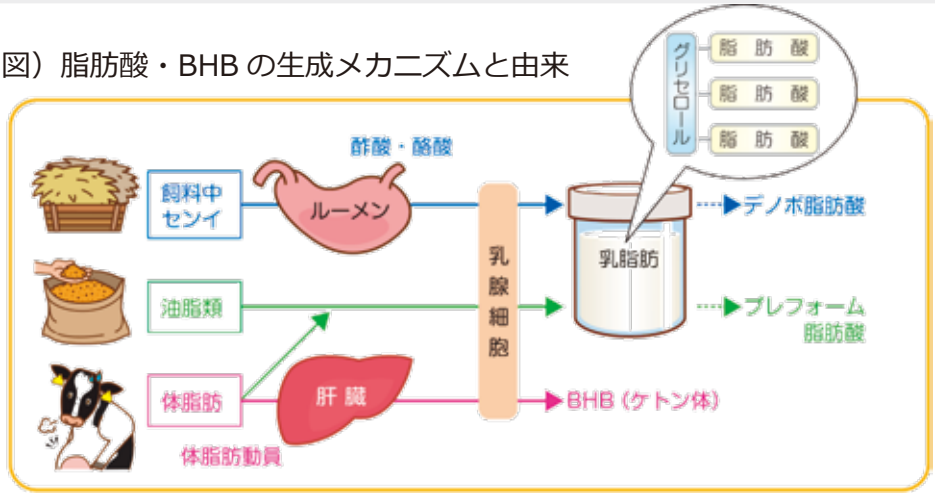
低デノボ頭数 ･･･ 分娩後の健康状態が思わしくない牛の発生状況

乳脂肪を構成する「脂肪酸」は 3 つの経路から作られ、ルーメン由来の脂肪酸をデノボ、エサの油脂や体脂肪に由来するものをプレフォームと呼びます（下図）。成績表のデノボ FA は、乳中の脂肪酸に占めるデノボの割合を指します。泌乳初期の低デノボ牛はエネルギー不足による体脂肪動員、粗飼料を中心とした乾物摂取量の低下が疑われます。

高 BHB 頭数 ･･･ 分娩後に潜在性ケトーシスが疑われる牛の発生状況

分娩前後の牛の多くはエネルギー不足に陥り、肝臓に体脂肪を送り込んでエネルギーを作ります。
これが長く続くとケトーシスを発症します。高 BHB 頭数が増えてきた場合は乾乳期からの管理方法を再点検しましょう。

図）脂肪酸・BHB の生成メカニズムと由来



B-3 直近 13 ヵ月成績推移 － 健康指標　②体細胞・体細胞スコア

毎月の体細胞数および体細胞スコアを掲載しています。
牛群の乳房炎の状況を確認しましょう。

直近13ヵ月成績	健康指標								
	泌乳初期		体細胞		体細胞スコア				
検定日	低デノボ	高BHB	平均	損失乳代	平均	2以下	3～4	5以上	新規5以上
	頭	頭	千	千円/月		%	%	%	%
5. 6			61	49	1.6	70	26	4	1
6. 7			90	49	1.8	66	26	7	3
7. 2			68	53	1.7	67	28	5	4
8. 4	3	3	132	66	1.9	67	28	5	3
9. 6	2	4	94	58	1.7	68	23	9	6
10. 8	1	1	112	70	1.7	68	25	7	3
11. 5	1		106	79	1.8	67	21	12	7
12. 5	3	4	201	119	2.1	63	25	13	4
1. 5	1	1	97	82	1.9	67	23	10	5
2. 2			143	75	1.9	68	22	10	5
3. 13	1	1	102	70	1.8	71	19	11	1
4. 11	1		93	68	1.6	74	18	8	1
5. 11	1	2	66	63	1.6	75	20	5	3
平均・計	12	13	111	70	1.8	68	23	9	4
前年成績	10	15	153	79	2.1	64	25	11	6

体細胞

- **平均**
  検定牛の体細胞数の平均（加重平均）
  検定牛全頭分をバルクに入れた際の体細胞数に相当
- **損失乳代**
  乳房炎により減少した乳量を乳代に換算
  （廃棄等によるロスは含まない）

体細胞スコア

体細胞数をスコア化（対数変換）した指標
牛群の乳房炎牛の割合を確認

- **平均**　牛群の体細胞スコアの平均
- **2 以下**　乳房が健康な牛の割合
- **3～4**　要注意牛の割合
- **5 以上**　乳房炎が疑われる牛の割合
- **新規 5 以上**　前月 4 以下で今月 5 以上になった牛の全体に占める割合

表）体細胞スコアと体細胞数の対応

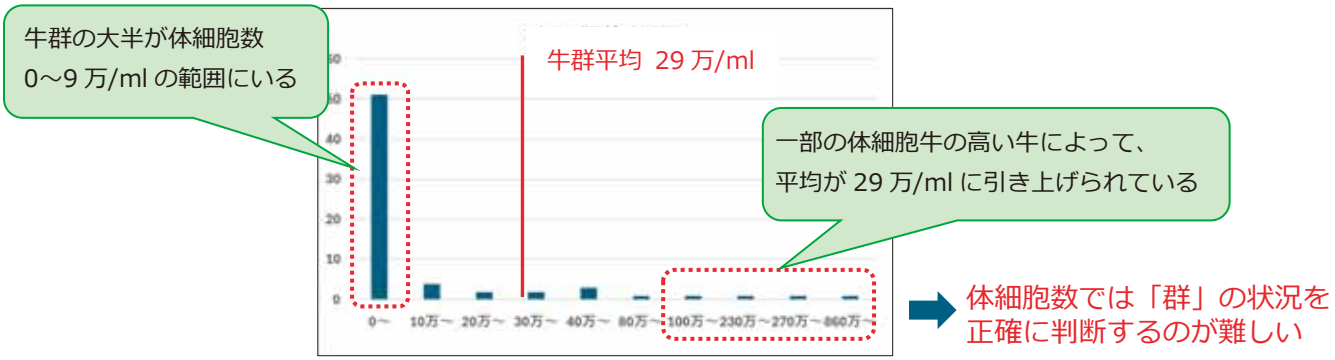
	体細胞スコア	体細胞（千/ml）
健康牛	2以下	～ 70
要注意牛	3～4	71 ～ 282
乳房炎牛	5以上	283 ～

体細胞スコアと体細胞数の関係

体細胞数は数値の振れ幅が大きく、乳房炎の牛の一部は非常に高い値を示します（100 万/ml 等）。検定時にこうした牛が数頭いれば、体細胞数の平均を大きく引き上げ、群全体の乳房の状況の把握を難しくします（下図の例）。
体細胞スコア（平均）は、こうした牛の影響を受けにくくした、群の状況の把握に適した指標です。

（使い方の詳細は次のページ）

図）ある農場の体細胞数の分布（縦軸：頭数、横軸：体細胞数）



B-3 直近 13 ヵ月成績推移 － 健康指標　②体細胞・体細胞スコア

体細胞スコアの活用方法　前月との増減を確認してみましょう！

体細胞スコアでは、前月・他の月との比較により「牛群内の乳房炎牛の増減」を確認できます。
下の例では、①月間の体細胞数（平均）には変化がありませんが、②体細胞スコア（平均）を見ると 2.0 上昇しています。③で検定牛の内訳を見ると、スコア 2 以下（乳房健康牛）の割合は 10%低下、スコア 5 以上（乳房炎が疑われる牛）の割合は 20%増加しています。
このように、体細胞スコアには体細胞数（平均）に表れない変化を察知できる利点があります。

【検定日個体分布】で、乳房炎が発生している産次・泌乳ステージを調べてみましょう。

直近13ヵ月成績	健康指標								
	泌乳初期		体細胞		体細胞スコア				
検定日	低デノボ	高BHB	平均	損失乳代	平均	2以下	3～4	5以上	新規5以上
	頭	頭	① 千	千円/頭	②	③ %	%	%	%
5. 6			400	150	3. 1	50	40	10	5
6. 7			400	180	5. 1	40	30	30	10

関連項目：体細胞スコア（5 以上頭数）
D-1 検定日個体分布 p.20

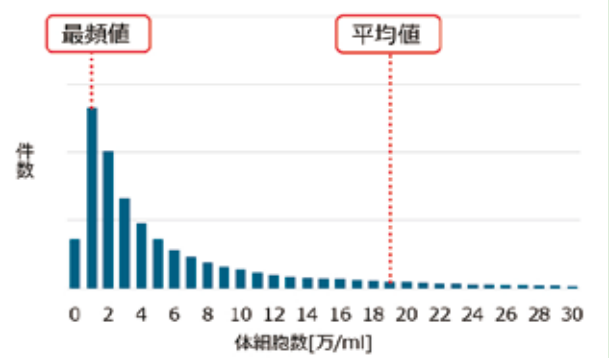
乳検の知恵袋　もっと詳しく！体細胞スコア

体細胞スコアは体細胞数を対数変換し、10 段階にスコア化したものです。スコア化により、極端に体細胞数が高い牛の影響を受けにくくなり、牛群の乳房の健康度の変化を正確にモニターできるようになります。

下のグラフは全道の体細胞数と体細胞スコアの分布です。体細胞数の分布（左図）は右に裾野の長い分布になっていて、多くの牛が該当する「最頻値」と「平均値」は大きく離れています。平均値だけで牛群全体を把握するのは困難です。

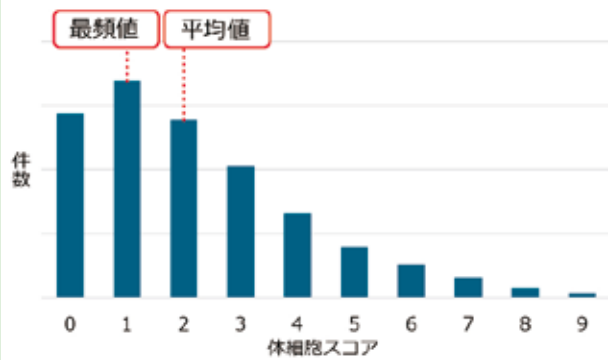
一方、体細胞スコア（右図）では最頻値と平均値はほぼ同じ値になっています。このため「平均＝多くの牛の状況」と置き換えられます。是非、体細胞スコアもご利用ください。

体細胞数の全道分布（2025 年 5 月）



・最頻値と平均値には大きな差がある

体細胞スコアの全道分布（2025 年 5 月）



・最頻値と平均値がほぼ同じ

B-4 直近 13 ヵ月成績推移 – 繁殖管理（経産牛）

各月の経産牛の授精・受胎状況を掲載しています。

直近13ヵ月成績	繁殖管理（経産牛）					
	授精		受胎率		100日以上未授精	200日以上空胎
検定日		受胎		初回		
	頭	頭	%	%	頭	頭
5. 6	17	5	29	50		5
6. 7	13	6	46	33	1	4
7. 2	17	5	29	14	2	5
8. 4	17	8	47	33	3	7
9. 6	16	8	50	50	2	7
10. 8	17	5	29	50	2	7
11. 5	14	6	43	50	2	6
12. 5	17	6	35	29	2	7
1. 5	12	5	42	29	2	7
2. 2	19	8	42	31	1	6
3. 13	20	10	50	33		3
4. 11	24	7	29	33		2
5. 11	6					2
平均・計	203	79	39	37	1	6
前年成績	177	64	36	28		7

授精
各月の授精頭数と受胎頭数（妊娠頭数）

受胎率
各月の受胎率（初回授精の受胎率は内数）

100 日以上未授精
各検定日時点で分娩後 100 日以上経過していて、授精報告のない頭数

200 日以上空胎
各検定日時点で分娩後 200 日以上経過していて、受胎していない頭数

100 日以上未授精 ･･･ 長期間授精されていない牛の増減を把握

長期間授精されていない牛が多いと、分娩後の体調回復の遅れ、エネルギー不足の継続などの問題が牛群で発生している可能性があります。繁殖データと併せて、各月の健康指標にも目を向けてみましょう。

関連項目：泌乳初期の要注意牛の発生状況
B-3 健康指標 p.15

関連項目：初回授精を実施した牛の成績
F-3 授精状況 p.28

200 日以上空胎 ･･･ 長期間妊娠できていない牛の増減を把握

【空胎日数】は妊娠した牛のみの繁殖成績です。繁殖管理を正確に評価するためには、妊娠していない牛の状況も確認する必要があります。
「200 日以上空胎」頭数が増加している場合は、「100 日以上未授精」頭数と【授精状況】を確認し、「初回授精の開始までに問題がある」のか「授精はできているが、受胎率および不受胎牛の発見に問題がある」のか、問題を切り分けてみましょう。

関連項目：妊娠した牛の成績（過去 1 ヵ年）
F-2 空胎日数 p.27

関連項目：初回･2 回目以降の授精状況
F-3 授精状況 p.28-p.29

※廃用予定などにより意図的に授精対象外にしている牛は「繁殖に供さない」を報告することで集計から除外されます。

C-1 今後の分娩予定 – 月別予定頭数

検定時点の繁殖成績を基に、今後８ヵ月間の分娩予定を掲載しています。搾乳牛頭数の推移予測、導入や売却などの計画にお役立てください。

月別予定頭数

月	分娩		産子内訳		予測頭数	
		初産	乳用	肉用	搾乳	乾乳
	頭	頭	頭	頭	頭	頭
5	25	2	1	24	367	58
6	40	9	12	28	389	49
7	32	7	10	22	392	66
8	33	14	12	21	394	78
9	38	8	13	25	405	75
10	37		3	34	423	57
11	21		5	16		
12	21		3	18		

分娩・産子内訳
今後８ヵ月間の分娩予定と、産まれてくる子牛の品種

予測頭数
今後６ヵ月間の搾乳牛と乾乳牛の予測頭数
（将来の除籍は考慮しない）

過去と将来の**搾乳牛頭数**を比較してみましょう

前年同時期の搾乳牛頭数（直近 13 ヵ月成績推移）と予測頭数の比較により、半年先までの生産の見込みを立てられます。予測に将来の除籍頭数を反映できないため、過大に予測される可能性がありますが、牛舎の収容頭数等を加味して利用してください。

① 前年より増加 → 生産量の増加が見込める（売却や規模拡大の選択が可能）

② 前年より減少 → 生産量の減少の可能性（導入なども検討）

関連項目：前年同時期の搾乳牛頭数
B-1 牛群構成 p.13

「予測頭数」 乾乳牛の大幅な増加に注意

乾乳牛頭数の大幅な増加は、乾乳牛舎や分娩房の過密・逼迫につながります。
過密状態が続くと不十分な休息や採食量の低下を引き起こし、周産期疾病のリスクが高まります。予測頭数を把握し、将来のリスクに備えましょう。

D-1 検定日個体分布

最新検定日の詳細な成績を掲載しています。検定実施牛を産次（初産･2 産以上）と搾乳日数でグループ分けし、グループ別に検定日成績を集計しています。

初産・2 産以上（搾乳日数 6 区分）
産次･搾乳日数で区分したグループ別の成績
（頭数･乳量･乳成分･体細胞）

搾乳日数別成績

検定日個体分布	頭数	初産 ～30日	初産 31日～	初産 61日～	初産 100日～	初産 200日～	初産 300日～	2産以上 ～30日	2産以上 31日～	2産以上 61日～	2産以上 100日～	2産以上 200日～	2産以上 300日～
kg	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
55以上	13							1	3	4	4	1	
50	23							1	2	7	7	6	
45	23		1	1			1			1	14	5	
40	28			1	4	1		1	1	2	9	7	2
35	55	2		2	8	5	6	1	1		14	12	4
30	32	1		1	6	3	3				4	12	2
25	34	1		2	4	4	7		1		4	6	5
20	13		1		2	2	3					3	2
15	6				1	1				1	1	2	
15未満	1											1	
頭数	228	4	2	7	25	16	20	4	8	15	57	55	15
乳量 kg		34.6	34.8	36.1	33.3	30.9	31.1	46.4	48.8	49.5	42.6	37.0	31.4
乳脂率 %		4.49	4.27	3.59	4.02	4.10	4.12	3.87	3.73	3.43	3.51	3.84	4.09
蛋白質率 %		3.31	3.33	3.00	3.34	3.50	3.74	2.95	2.93	2.99	3.20	3.49	3.72
乳糖率 %		4.61	4.68	4.64	4.60	4.53	4.56	4.56	4.64	4.60	4.53	4.48	4.45
MUN mg/dl		10.5	9.4	10.6	12.2	12.4	11.5	10.1	9.8	9.5	10.9	11.2	11.5
P／F比 %		74	78	83	83	85	91	76	79	87	91	91	91
体細胞数 千/ml		94	38	297	217	44	176	15	27	61	356	245	121
体細胞スコア（5以上頭数）		2.8 ( )	1.0 ( )	2.6 (1)	1.4 (1)	1.4 ( )	2.3 (2)	0.3 ( )	0.9 ( )	1.5 (1)	3.0 (15)	2.7 (8)	2.7 (1)

検定日乳量の区分
各乳量区分に該当する頭数
（グループ別の乳量分布）

乳量･乳成分･体細胞数
グループ別の平均

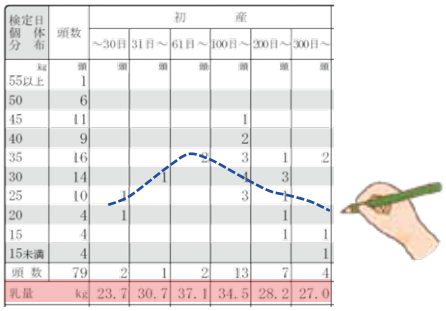
体細胞スコア（5 以上頭数）
グループ別平均とスコア 5 以上（乳房炎が疑われる牛）の頭数

分娩後の**乳量**の推移を確認しましょう

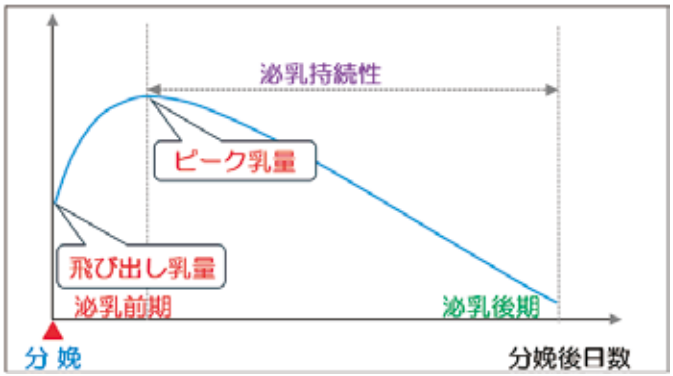
グループ別の平均乳量を点で結ぶと、初産･2 産以上の泌乳曲線（分娩～乾乳までの乳量推移）をイメージできます。一般的な泌乳曲線と乳量の推移を比較してみましょう。
特に分娩後の初回検定にあたる「～30 日」の区分（飛び出し乳量）、検定 2 回目の「31 日～」区分（ピーク乳量）で良好な立ち上がりが見られるか確認してみてください。

- 飛び出し乳量が低い　：分娩前からの食い込み不足・周産期疾病の多発　等
- 泌乳ピークが低い　　：分娩～泌乳ピークの乾物摂取量の不足（負のエネルギーバランス）等

乳量の平均を線で結ぶと泌乳曲線を描けます



図）一般的な泌乳曲線



D-1 検定日個体分布

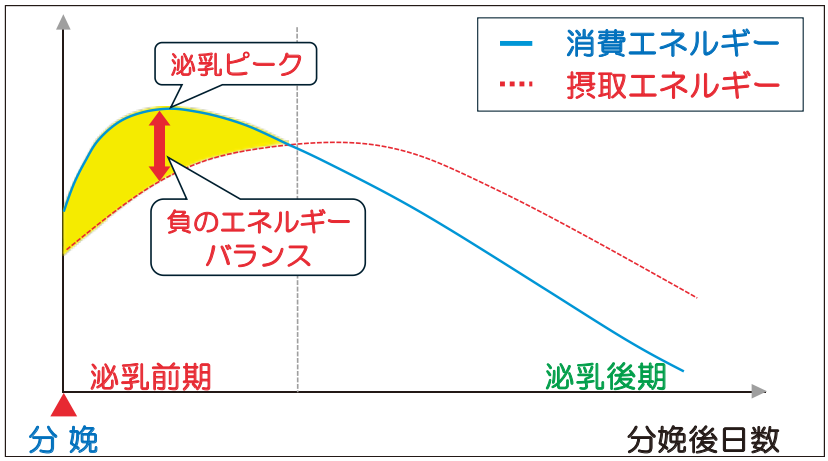
泌乳初期の**乳成分**をモニタリング

乳成分も泌乳初期の 2 区分（～30 日・31 日～）が特に重要です。
泌乳初期は、乳量の急激な増加に採食量が追いつかず、エネルギー不足に陥りやすい時期です。特に蛋白質率が低下（3.0%以下が目安）し、「61 日～」の区分でも回復していない場合、負のエネルギーバランス（下図）から抜け出せていない可能性があります。

また、乳脂率が低い場合（3.5%以下）は SARA（亜急性ルーメンアシドーシス）、極端に高い場合（4.0%後半）は、エネルギー不足による体脂肪動員の牛が増えているかもしれません。

関連項目
D-2 泌乳初期要注意牛 p.22

図）乳期における消費エネルギーと摂取エネルギーの関係

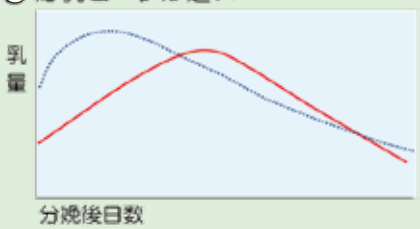


乳検の知恵袋　泌乳曲線で牛群の状態を把握しよう！

特徴的な泌乳曲線 ～ あなたの農場はどのパターンですか？

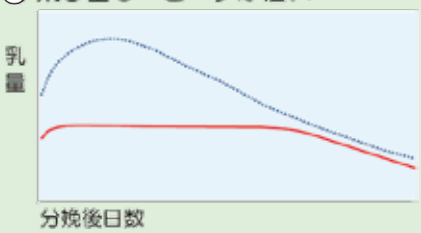
※青色の点線が一般的な泌乳曲線の形状です

① 泌乳ピークが遅い



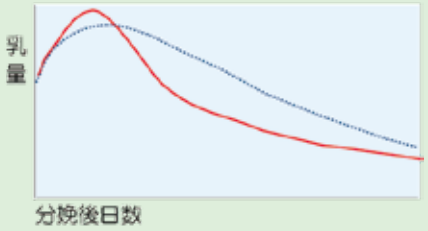
・乾乳期の栄養摂取量が少ない（2 産以上の区分）
・食い込みの増加に伴い乳量は回復

② 飛び出し・ピークが低い



・分娩前からの体調不良
・エネルギー不足が長期間継続

③ 乳量が急降下



・泌乳ピーク前後の栄養管理の問題
・泌乳持続性が低い

D-2 泌乳初期要注意牛

泌乳初期（分娩後 60 日以内）の要注意牛の頭数を産次別に掲載しています。
最新検定日の成績が乳成分基準（5 種類）から外れた牛が抽出されます。

初産･2 産･3 産以上（搾乳日数）
産次･搾乳日数の区分別の頭数

要注意頭数（総頭数）
各区分の要注意牛頭数（下の乳成分基準の 1 つ以上に該当した頭数）

カッコ内は各区分における総頭数

泌乳初期要注意牛	初産		2産		3産以上	
	～30日	31日～	～30日	31日～	～30日	31日～
要注意頭数（総頭数）	頭 1（2）	頭 1（1）	頭（1）	頭 1（2）	頭（）	頭 2（2）
乳脂率≦3.5%		1		1		2
乳脂率≧5.0%	1					
蛋白質率≦2.8%						1
BHB≧0.13 mmol/l						
デノボFA＜22%	1					

各乳成分基準から外れた頭数

分娩後に体調不良が疑われる牛の発生状況を把握

【D-1 検定日個体分布】は各乳成分の平均のみの掲載ですが、このブロックでは泌乳初期に問題を抱えている牛がどの程度いるのか確認できます。個体検定日成績で要注意牛を特定し、早めに対策しましょう。

また、各区分の「総頭数に占める要注意牛の割合」をモニタリングすることで、周産期管理の適否を評価できます。

＜補足＞各乳成分でモニタリングできるトラブル

- 乳脂率 3.5%以下　：亜急性ルーメンアシドーシス（SARA）　※「31 日～」区分に注目
- 乳脂率 5.0%以上　：過度な体脂肪の動員　※「～30 日」に注目
- 蛋白質 2.8%以下　：エネルギー不足　※「31 日～」に注目
- BHB 0.13%以上　：潜在性ケトーシス、肝臓への負担　※「～30 日」に注目
- デノボ FA22%未満　：ルーメン環境の乱れ、体脂肪動員、採食量不足　※「～30 日」に注目

関連項目：高 BHB･低デノボの 1 年間の発生状況
B-3 健康指標 p.15

E-1 除籍牛の分析 － 年間追加除籍牛

直近 1 年間に追加・除籍になった頭数と、除籍までの通算乳量を掲載しています。農場を去った牛の情報を通して、飼養管理における問題の有無や、生涯で生産した乳量を確認しましょう。

1 年前
1 年前の検定日の牛群構成
（産次ごとの頭数）

追加
直近 12 回の検定で追加された頭数

除籍牛の分析

年間追加除籍牛	1年前	追加	除籍 頭数（売却）	除籍 淘汰率	除籍 30日以内除籍	除籍 通算乳量
	頭	頭	頭　頭	%	%	kg
未経産	152	111	34（28）	4		
初産	81		9（2）	9		7,006
2産	56		8（1）	13		18,992
3産	49	2	17（3）	29	2	37,221
4産	33		14（2）	36	3	52,261
5産以上	37		23（4）	51	3	72,227
経産牛　平均・計			3.6産 6歳　0月	23	1	46,195

除籍頭数（売却）
直近 12 回の検定で除籍された頭数
カッコ内は内数で、乳用売却による除籍

淘汰率
直近12回の検定で除籍された頭数（乳用売却除く）を 1 年前の頭数で割ったもの

30日以内除籍
分娩後30日以内に除籍となった牛の割合

通算乳量
除籍までの累計乳量の平均（1 頭当り）

経産牛　平均・計
頭数（売却）欄に平均除籍産次と平均除籍年齢を掲載
淘汰率・30 日以内除籍・通算乳量の欄には、経産牛全体の平均値を掲載

淘汰率　－ 初産や 2 産の淘汰率に注目

経産牛の淘汰率が高いほど多くの育成牛を確保する必要が生じ、低能力牛の淘汰が進めづらくなります。

一般的に初産～2 産は育成期間の投資費用を回収する時期です。この時期の除籍が多い場合は利益をもたらさずに農場を去った牛が多いということになり、経営に大きな悪影響を及ぼします。

【参考】全道の淘汰率平均 初産：14%、2 産：21%（2025 年 5 月時点）

淘汰率の高い産次があった場合は、【除籍理由】で確認しましょう。

関連項目
E-2 除籍理由 p.24

30 日以内除籍　－ 図らずも農場を去った牛がどれだけいるのか？

分娩後 30 日以内に起きた除籍のほとんどは、意図しない除籍だと思われます。
この値が高い産次において、分娩時の事故や周産期疾病が多発している可能性があります。
特に、初産や 2 産で高い場合は早急に対策を講じましょう。

通算乳量　－ 生涯でどれだけ農場に貢献したのか？

除籍となった牛が「生涯を通してどれだけの売上を農場にもたらした」のか、おおよその見当をつけられます。
農場全体の通算乳量が伸び悩む要因としては、初産や 2 産での除籍が多いことのほかにも繁殖成績が悪いことも挙げられます。繁殖が思わしくないと長く搾らざるを得なくなり、スムーズに分娩できれば搾れたであろう乳量を下回る結果となります。

【参考】通算乳量の全道平均は 31,223kg、平均除籍産次は 3.2 産（2025 年 5 月時点）

E-2　除籍牛の分析 － 除籍理由

直近 1 年間の除籍頭数を、除籍理由別・産次別に集計しています。意図しない除籍が多く発生していないか、除籍理由が特定のものに集中していないかも確認しましょう。

除籍理由	乳房炎	乳器障害	繁殖障害	肢蹄病	消化器病	起立不能	低能力	死亡	他
	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
未経産								3	3
初　産		1		1		1		3	1
2　産			2	1		1		2	1
3産以上	3		9	4	1	4		11	13

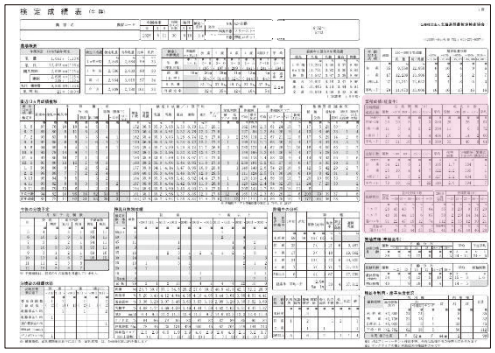
除籍理由の一覧
除籍がどの月に発生したか確認する場合は【直近 13 ヵ月成績　牛群構成】を参照

※乳用売却で除籍された頭数を確認したい場合は【年間追加除籍牛】を参照

関連項目
B-1　牛群構成　p.13
関連項目
E-1　年間追加除籍牛　p.23

F-1 2 3 繁殖成績（経産牛）

1 年間の経産牛の繁殖成績を集計しています。



＜掲載項目＞

F-1 分娩間隔 乾乳日数 p.26

F-2 空胎日数 p.27

F-3 授精状況 p.28-p.29

過 去

F-1 過去 1 年に「分娩した牛」の成績 （分娩間隔・乾乳日数）

分娩間隔 乾乳日数	分娩間隔（日） 頭数	～379	380～	405～	430～	平均	乾乳日数 頭数	～39	40～	70～	平均
（分娩牛）	頭	頭	頭	頭	頭	日	頭	頭	頭	頭	日
初産→2産	44	10	12	9	13	419	44		41	3	63
2産→3産	58	17	7	9	25	437	55	3	46	6	62
4 産 以 上	67	19	8	14	26	420	66	2	54	10	61
平均・計	169	46	27	32	64	426	165	5	141	19	62

F-2 過去 1 年に「妊娠（受胎）した牛」の成績 （空胎日数ほか）

空胎日数	頭数	～99	100～	125～	150～	平均	授精回数	分娩間隔予定平均	繁殖に供さない
（受胎牛）	頭	頭	頭	頭	頭	日	回	日	頭
初　産	73	17	20	10	26	141	2.0	421	1
2　産	37	17	2	1	17	158	1.8	411	2
3産以上	69	21	15	10	23	138	1.9	414	14
平均・計	179	55	37	21	66	143	1.9	417	17

F-3 過去 1 年に「授精した牛」の成績 （初回授精・授精間隔）

授精状況	初回授精	初回授精日数 ～59	60～	80～	100～	平均	2回目以降授精	授精間隔（日） ～17	18～	25～	36～	49～
	頭	%	%	%	%	日	件	%	%	%	%	%
3 カ 月	28	43	43	7	7	64	35	3	29	9	37	23
6 カ 月	48	38	44	13	6	67	受胎率% 58	2	29	14	34	21
過去1カ年	91	22	47	19	12	74	112	2	35	12	30	21
受胎率（過去1カ年）		% 40	% 33	% 44	% 33	% 37	受胎率% 41	% 0	% 47	% 40	% 46	% 28

現 在

下のブロックほど「より直近の繁殖管理」が反映された成績です。

詳細な活用方法は次ページから

F-1 繁殖成績（経産牛） － 分娩間隔･乾乳日数

過去 1 ヵ年に分娩した牛の繁殖成績（分娩間隔･乾乳日数）を掲載しています。

分娩間隔（日）
前回分娩～今回分娩の経過日数の分布と平均
（産次別・全体）

乾乳日数
分娩した牛の乾乳日数の分布と平均

分娩間隔 乾乳日数	分娩間隔（日）						乾乳日数				
	頭数	～379	380～	405～	430～	平均	頭数	～39	40～	70～	平均
(分娩牛)	頭	頭	頭	頭	頭	日	頭	頭	頭	頭	日
初産→2産	29	20	5	1	3	380	28		26	2	57
2産→3産	11	5	1	3	2	390	11		6	5	72
4産以上	17	6	4	3	4	406	16		14	2	60
平均・計	57	31	10	7	9	390	55		46	9	61

分娩間隔の分布で要注意牛の割合を把握

分娩間隔は平均だけではなく分布状況も重要です。農場の目標とする日数の区分に頭数が集中しているか確認してみましょう。

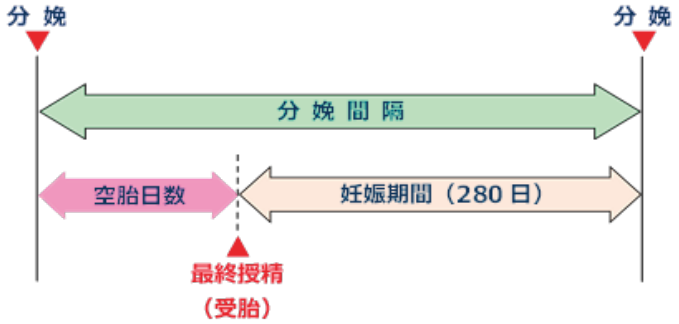
「430～」欄の分娩間隔が長期化した区分は、乳量の低下で経営にマイナスの影響を与えた可能性が高いグループです。これらの牛は泌乳後期に太り、健康面のリスクが高い状態で分娩を迎えた可能性があるため、今乳期の生産・繁殖の低迷も懸念されます。
（分娩後の早期除籍のリスクにも影響）

関連項目 30 日以内除籍割合
E-1 年間追加除籍牛 p.23-p.24

分娩間隔と空胎日数の関係性

分娩間隔は、空胎日数（妊娠に要した期間）に 280 日（妊娠日数）を足した日数とほぼ一致します（下図）。つまり、分娩間隔の長短は「空胎日数の長短」によって決まります。

分娩間隔と空胎日数の違いの一つは、繁殖管理の結果が成績に反映されるまでの時間です。1 頭毎にみたとき、現在の管理が成績に反映されるのは、分娩間隔では次の分娩のタイミング、空胎日数では受胎報告のタイミングになるため、空胎日数の方が「より直近の繁殖管理を確認できる」ことになります。



・**分娩間隔**
前回分娩～今回分娩の日数
個体：（2 回目以降の）分娩報告で集計

・**空胎日数**
分娩～受胎に要した日数
個体：受胎報告（NR70 含む）で集計

F-2 繁殖成績（経産牛） － 空胎日数

過去１ヵ年に妊娠した牛の繁殖成績（空胎日数等）を掲載しています。

空胎日数分布
分娩から受胎までに要した日数の分布と平均
（産次別・全体）

授精回数
受胎までに要した授精回数の平均

分娩間隔 予定平均
現在妊娠中の牛が将来分娩した時の分娩間隔の平均

空胎日数	頭数	～99	100～	125～	150～	平均	授精回数	分娩間隔予定平均	繁殖に供さない
(受胎牛)	頭	頭	頭	頭	頭	日	回	日	頭
初　産	34	21	5	1	7	105	1.7	384	1
2　産	25	10	4	4	7	122	2.2	399	1
3産以上	20	7	3	2	8	127	2.2	404	5
平均・計	79	38	12	7	22	116	2.0	394	7

繁殖に供さない
最終の繁殖報告が「繁殖に供さない」の頭数

空胎日数が長くなっているときの原因を確認

空胎日数が長い場合、始めに【繁殖管理（経産牛）】で「200 日以上空胎」の牛がどの程度いるのか確認してください。

次に、過去１ヵ年の【授精状況】を確認して「初回授精まで」と「初回授精の後」のどちらが、空胎日数の延長の原因になっているか確認しましょう。

【参考】全道平均（2025 年 5 月時点）空胎日数 144 日

関連項目 B-4 繁殖管理（経産牛） p.18
関連項目 F-3 授精状況 p.28-p.29

分娩間隔 予定平均で繁殖成績のトレンドを把握

分娩間隔の予定平均は、現在妊娠している牛の空胎日数に在胎日数を加えた「将来の分娩間隔」を算出して平均した値です。
これを、【分娩間隔】の値と比較すると、おおむね１年前と今年１年の繁殖管理の変化を評価できます。現在の繁殖成績のトレンドを把握しましょう。

関連項目 F-1 分娩間隔 p.26

「繁殖に供さない」の報告で繁殖成績が正確に

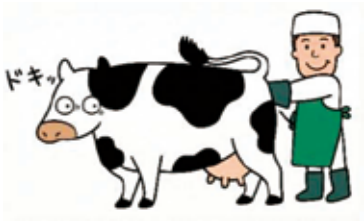
最終授精報告から 70 日以上経過し、別の授精、発情、流産などの報告のない牛は、自動的に受胎牛とみなされます（NR70）。繁殖を諦めた牛に「繁殖に供さない」を報告すると各種繁殖成績の集計対象から除外され、より実態に近い成績となります。

F-3 繁殖成績（経産牛）－ 授精状況　①初回授精

分娩後の初回授精の実施状況を掲載しています。

まず初回授精（左半分）を説明します。

授精状況	初回授精	初回授精日数 ～59	60～	80～	100～	平均	2回目以降授精	授精間隔（日） ～17	18～	25～	36～	49～
	頭	%	%	%	%	日	件	%	%	%	%	%
3ヵ月	28	43	43	7	7	64	35	3	29	9	37	23
6ヵ月	48	38	44	13	6	67	58	2	29	14	34	21
過去1ヵ年	91	22	47	19	12	74	112	2	35	12	30	21
受胎率（過去1ヵ年）		% 40	% 33	% 44	% 33	% 37	受胎率% 41	% 0	% 47	% 40	% 46	% 28



初回授精の成績

授精状況	初回授精	初回授精日数 ～59	60～	80～	100～	平均
	頭	%	%	%	%	日
3ヵ月	28	43	43	7	7	64
6ヵ月	48	38	44	13	6	67
過去1ヵ年	91	22	47	19	12	74
受胎率（過去1ヵ年）		% 40	% 33	% 44	% 33	% 37

初回授精
直近３ヵ月･6ヵ月･1ヵ年の間の初回授精頭数

初回授精日数（分布）
各日数区分に該当する頭数の割合

初回授精日数（平均）
集計期間における初回授精日数の平均

受胎率（過去１ヵ年）
日数区分別の受胎率および
全体の平均受胎率

初回授精とVWP（自主的待機期間）

農場毎に設定している、意図的に授精しない期間（VWP）の後に速やかに授精できているか、その受胎率が良好であるか確認しましょう。
一般的には初回授精を遅らせると高い受胎率が得られますが、スタートが遅れることで空胎日数が延長する可能性もあります。授精開始日と受胎率の関係を確認し、設定したVWPが現状にあっているか確認しましょう。

※全道成績（2025年５月）

授精状況	初回授精	初回授精日数 ～59	60～	80～	100～	平均
過去1ヵ年	279,588	14 %	34 %	27 %	25 %	89 日
過去1ヵ年受胎率		36 %	39 %	39 %	42 %	39 %

関連項目：過去１ヵ年の長期未授精の状況
B-4 繁殖管理（経産牛） p.18

F-3 繁殖成績（経産牛）－ 授精状況　②2 回目以降授精

初回授精で受胎しなかった牛への再授精が効率的に行われているか確認できます。
（2 回目以降の授精実施状況）

ここからは 2 回目以降授精（右半分）を説明します。

授精状況	初回授精	初回授精日数					2回目以降授精	授精間隔（日）				
		～59	60～	80～	100～	平均		～17	18～	25～	36～	49～
	頭	%	%	%	%	日	件	%	%	%	%	%
3ヵ月	28	43	43	7	7	64	35	3	29	9	37	23
6ヵ月	48	38	44	13	6	67	58	2	29	14	34	21
過去1ヵ年	91	22	47	19	12	74	112	2	35	12	30	21
受胎率（過去1ヵ年）		% 40	% 33	% 44	% 33	% 37	受胎率% 41	% 0	% 47	% 40	% 46	% 28

2 回目以降の授精

授精状況	2回目以降授精	授精間隔（日）				
		～17	18～	25～	36～	49～
	件	%	%	%	%	%
3ヵ月	35	3	29	9	37	23
6ヵ月	58	2	29	14	34	21
過去1ヵ年	112	2	35	12	30	21
	受胎率% 41	% 0	% 47	% 40	% 46	% 28

2 回目以降授精
過去 3 ヵ月･6 ヵ月･1 ヵ年の間に行われた初回授精を除く授精件数および平均受胎率

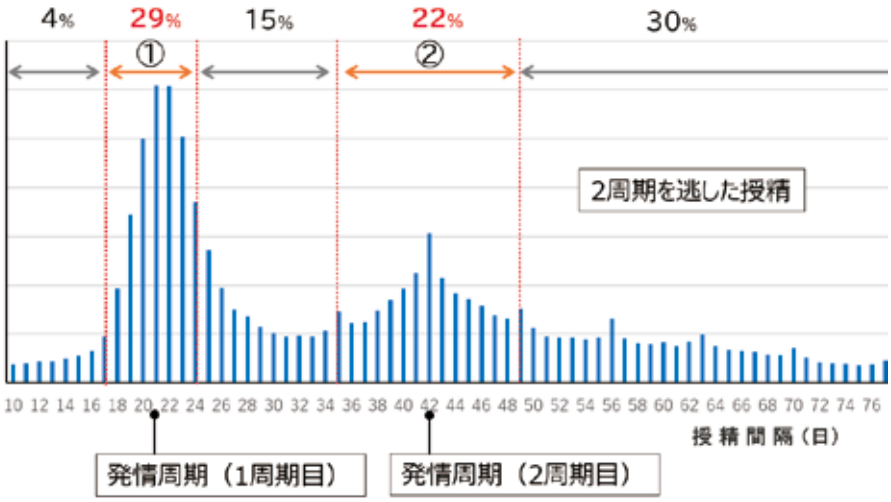
授精間隔（日）
前回授精からの経過日数の分布（授精件数の割合）
※授精間隔「18～」「36～」の区分は、それぞれ発情周期 1 周目、2 周目に該当

受胎率（過去 1 ヵ年）：過去 1 ヵ年の平均受胎率および日数区分別の受胎率

空胎牛の発見と再授精が効率的に行えているか確認！

授精間隔（日）の右の区分ほど授精間隔が長く、21 日周期の発情（授精機会）を多く逃したことになります。
理想は発情周期 1 周目に該当する「18 日～」の区分に授精が集中していることです。
「49 日～」は発情周期を 2 回逃している区分になります。大きな数字が掲載されている場合は、妊娠確認方法の見直しも検討してみましょう。
※プログラム授精を実施している場合など、上記の説明が当てはまらない場合があります。

道内の授精間隔の分布
（2025 年 5 月時点）



F-4 5 繁殖成績（未経産牛）－ 初産分娩月齢 / 授精月齢

過去 1 年間の初産分娩の状況と未経産牛の授精実施状況を掲載しています。

F-4 初産分娩月齢

月齢分布
初産分娩月齢の分布（頭数）

平均
初産分娩月齢の平均

初産分娩月齢	頭数	月齢分布 ～22	23	24	25	26～27	28～	平均	予定平均
	頭 38	頭 2	頭 9	頭 12	頭 8	頭 4	頭 3	月－日 24－14	月－日 24－5

頭数
過去 1 ヵ年の初産分娩頭数

予定平均
現在の妊娠牛が予定当日に分娩した場合の初産分娩月齢の平均

初産分娩月齢で経済性を分析！

農場の目標とする月齢に分布が集中しているか確認しましょう。
初産分娩が遅くなるほど、生乳生産を開始するまでの育成費用が余計に掛かります。
また、月齢分布のばらつきは、初産牛の体の大きさや泌乳能力がばらつく原因となり、初産牛の管理を難しくする可能性があります。

関連項目:初産の能力を確認
A-5 年間 305 日成績 p.10

F-5 授精月齢

頭数（過去 1 ヵ年）
受胎頭数（上段）
初回授精の実施頭数（下段）

月齢分布
最終授精（受胎に至った授精）と
初回授精の実施月齢の分布

授精月齢	頭数	月齢分布 ～12	13	14	15	16～17	18～	平均	授精回数
最終授精（受胎牛）	頭 34	頭	頭 4	頭 13	頭 5	頭 10	頭 2	月－日 15－3	回 1.6
初回授精	40		9	19	8	4		14－5	

平均
最終授精、初回授精の実施月齢の平均

授精回数
受胎に至った授精回数の平均

農場の育成管理技術を再点検しましょう

初産分娩月齢 24 ヵ月齢を目指す場合、15 ヵ月齢までに受胎している必要があります。
【初産分娩月齢】が遅れている場合、上段（最終授精）・下段（初回授精）を比較し原因を確認しましょう。

・初回授精の開始が遅れている　→ 発育の遅れ、発情の見逃し
・初回授精から受胎までが長期化 → 受胎率が低い、再発の見逃し　等

【参考】全道平均　（2025 年 5 月時点）
最終授精：月齢 15 ヵ月 22 日(授精回数 1.8 回)、　初回授精：平均 14 ヵ月 14 日

G-1 種雄牛利用 ・ 産子生産状況 – 最終授精 / 年間 産子生産

現在の最終授精と過去１ヵ年の産子の生産状況を掲載しています。使用した精液の内訳から、今後生まれる可能性のある品種・性別を把握できます。

乳用種（産次別・全体）
AI（人工授精）
乳用種の人工授精頭数
性選別: 性選別精液の授精頭数（内数）
ヤング: ヤングサイア精液の授精頭数（内数）

ET（受精卵移植）
乳用種の受精卵移植頭数

肉用種（産次別・全体）
肉用種の授精頭数（AI）と
受精卵移植頭数（ET）

合計（産次別・全体）
現在の最終授精の合計頭数
（妊否不明含む）

最終授精	乳用種					肉用種		合計
	総合指数（NTP）	AI			ET	AI	ET	
			性選別	ヤング				
		頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
未経産	+2, 669	3	2			27		30
初産	+2, 810	20	6	2		1		21
2産以上	+2, 791	45	8	3		1		46
平均・計	+2, 794	68	16	5		29		97
年間 産子生産		♀ 42 頭		♂	21 頭	17		80

総合指数（NTP）（産次別・全体）
授精に使用している種雄牛の平均
※海外種雄牛は含まない

年間 産子生産
過去１ヵ年で生まれた子牛の品種･性別
および合計頭数
※死産は産子に含まない、双子・三つ子はそれぞれ
2、3とカウント

改良を意識した交配ができているかチェック

牛群改良を効率的に進めるためには、若い世代から後継牛を生産し、肉用種の生産には産次の進んだ牛を用いることが理想です。
未経産の乳用種の性選別精液、ヤングサイアの利用状況を確認しましょう。

関連項目:産次別の能力比較
A-5 年間 305 日成績 p.10

関連項目:今後の分娩予定
C-1 月別予定頭数 p.19

Memo

Ⅱ.　個体検定日成績・個体累計成績

個体検定日成績　各ブロックの概要

検　定　成　績　表　（個体検定日成績）

検定年月日	前回からの日数	検定方法
2025年 5月18日	44日	AT夜

個体識別番号 (*は無登録牛)	分娩 年月日	産次	性別	難易	搾乳日数	乳量 今月	前月	前々月	最高乳量	体細胞 今月 千/ml	バルク影響率	体細胞スコア 今月	前月	前々月	牛コード
00000-0647-0	24. 8.24	5	♀	1	268	32.7	32.7	33.8	43.7	105	10	3	3	3	0647
00000-0649-0	24. 7.26	5	♀	1	297	32.3	33.7	31.7	40.7	34	3	1	1	1	0649
00000-0672-0	25. 2. 9	5	♀	1	99	40.6	※ 43.2	44.3	44.3	28	3	1	0	0	0672
00000-0674-0	25. 1.16	4	♀	1	123	▽ 37.3	45.4	42.8	45.4	46	5	2	2	2	0674
00000-0676-0	24.10. 8	4	♀	1	223	32.1	33.6	36.5	43.1	23	2	1	1	0	0676
00000-0678-0	[illegible]				[illegible]										0678
00000-0685-0															0685
00000-0699-0															0699
00000-0727-0						40.2	41.6	37.5	43.9	9	1	0	0	1	0727
00000-0730-0						45.0	47.4	日不	47.4	5	1	0	0		0730
00000-0735-0	24.11.30	2	♂	1	170	37.7	36.4	35.5	43.9	70	7	2	3	4	0735
00000-0743-0	24.10.31	2	♂	1	200	▽ 37.9	43.0		43.0	13	1	0	0	1	0743
00000-0744-0	24. 7.18	2	♂	1	305	37.1	32.2	35.5	41.3	243	25	4	2	2	0744
00000-0753-0	24. 5.15	1	♀	2	369	29.7	30.4	28.8	43.5	54	4	2	1	2	0753
00000-0761-0	25. 4. 9	2	死産	5	40	43.6	乾乳	乾乳		28	3	1			0761
00000-0770-0	25. 4. 4	2	♀	1	45	38.7	日不	乾乳		12	1	0			0770
00000-0771-0	25. 5. 5	2	♂	1	14	32.7	乾乳	乾乳		15	1	0			0771
00000-0772-0	24. 6.28	1	♀	1	325	28.4	29.2	29.8	36.9	40	3	2	1	1	0772
00000-0773-0	24. 8. 2	1	♀	1	290	27.6	28.6	27.1	34.5	41	3	2	1	2	0773
00000-0774-0	24. 8.16	1	♀	1	276	▽ 27.1	33.0	33.2	40.0	11	1	0	0	1	0774
00000-0775-0	24. 8.27	1	♀	1	265	26.1	27.9	28.6	35.2	13	1	0	2	1	0775
00000-0777-0	24. 9.26	1	♂	1	235	34.2	35.7	32.1	37.5	71	7	3	4	3	0777
00000-0779-0	24.11.22	1	♀	1	178	38.5	36.2	36.7	40.1	39	4	2	1	1	0779
00000-0781-0	24.10.31	1	♀	1	200	40.8	39.3	36.9	40.8	11	1	0	1	0	0781
00000-0788-0	25. 2.28	1	♀	1	80	▽ 35.8	40.0	31.5	40.0	12	1	0	1	1	0788
00000-0789-0	25. 3.30	1	♀	1	50	33.3	日不			27	3	1			0789
00000-0791-0	25. 3.17	1	♀	1	63	36.0	34.3		36.0	15	2	0	2		0791
*** 乾乳牛 ***					乾乳日数	最終検定				最終検定					
00000-0752-0	24. 1.20	1	♀	1	62	25. 3. 9	中止								0752
00000-0754-0	24. 3.10	1	♀	1	23	25. 4. 4	24.6			25		1			0754
産次成績	経産牛	搾乳牛													損失乳量日計
初　産	13頭	11頭			212	32.5	32.7	30.9	38.5	30		1.1	1.4	1.4	0.7
2　産	6頭	6頭			129	38.0	37.2	35.3	42.7	63		1.2	1.7	2.3	1.2
3産以上	10頭	10頭	4.1		173	38.3	39.4	37.6	45.0	28		0.9	0.8	0.8	0.8
平均・計	29頭	27頭	2.3		179	35.9	36.0	34.4	41.7	37		1.0	1.2	1.3	2.7

分娩情報
搾乳日数

乳量・体細胞

搾乳牛

乾乳牛

集計行

※：ピーク時（検定60日以内で先月比）減
▽：先月比10～20%減
▼：20%以上減

注：3ヵ月平均5以上
△：5・6
▲：7以上

分娩難易コード　1：自然分娩　2：軽い介助　3：2～3人を必要とした助産　4：数人を必要とした難産　5：外科処置を必要とした難産または分娩時母牛死亡
疾病コード　1：乳房炎　2：起立不能　3：ケトーシス　4：第四胃変位　5：食滞、鼓腹症　6：消化器系、代謝障害　7：乳熱　8：肢蹄故障　0：その他
※ 乾乳牛については、乾乳前の最終検定の成績を掲載しています

農家名：北酪検牧場

北海道

公益社団法人 北海道酪農検定検査協会

乳脂率		デノボFA		プレフォームFA		BHB		蛋白質率		無脂固形分率		MUN		疾病		直近体重
今月	前月	今月	前月	今月	前月	今月	前月	今月	前月	今月	前月	今月	前月	1	2	
4.06	3.89	29	29	32	33	0.03	0.03	3.87	3.51	9.49	9.27	※ 6.3	10.3			691
4.25	4.56	31	30	31	31	0.05	0.03	3.60	3.47	8.99	9.00	※ 6.6	※ 6.6			691
4.17	4.09	31	30	29	30	0.05	0.03	3.37	2.86	8.92	8.40	※ 7.6	10.8			701
4.23	4.63	30	28	32	33	0.07	0.04	3.52	▽ 3.24	9.25	8.98	※ 6.8	8.8			691
4.49	4.81	31	30	32	29	0.03	0.00	3.90	3.77	9.49	9.39	※ 7.7	11.3			691
3.65		25		41		0.10		3.02		8.56		※ 5.7				664
3.43	3.85	29	30	35	32	0.04	0.00	3.22	3.13	8.48	8.37	※ 5.8	10.1			619
3.69	3.65	29	29	37	37	0.09	0.03	2.82	2.91	※ 7.77	※ 8.01	※ 5.0	※ 6.4			673
3.48	3.58	29	31	37	28	0.04	0.02	3.51	3.44	9.06	8.90	※ 5.3	9.2			637
3.35	※ 2.51	33	30	31	35	0.05	0.02	3.11	3.03	8.58	8.68	※ 7.1	※ 7.9			629
▽ 3.58	4.46	30	30	36	32	0.00	0.03	3.74	3.82	9.13	9.16	※ 5.1	※ 6.4			628
4.27	4.13	30	30	33	33	0.09	0.02	3.85	3.63	9.23	9.11	※ 6.9	9.7			577
3.37		27		39		0.03		3.01		8.64		※ 7.2				611
3.82		30		34		0.02		2.87		※ 8.30		※ 7.3				611
4.58		25		43		0.09		3.55		8.93		※ 6.1				602
4.08	4.32	29	31	36	33	0.05	0.01	3.61	3.64	8.86	8.82	※ 4.4	※ 7.3			602
※ 2.58	※ 2.86	26	28	49	40	0.04	0.01	3.70	3.64	9.16	9.17	※ 1.9	※ 5.9			529
※ 2.95	※ 2.33	29	28	42	44	0.03	0.05	3.51	3.14	9.04	8.56	※ 5.4	※ 5.6			552
3.60	3.87	26	27	43	40	0.02	0.01	3.61	3.79	9.29	9.32	※ 6.5	12.4			536
3.41	3.34	28	26	39	40	0.09	0.04	3.21	3.12	8.73	8.73	8.4	11.7			585
3.42	3.54	27	27	40	36	0.03	0.02	3.14	2.99	8.79	8.69	※ 6.0	10.7			594
※ 2.47	※ 2.89	30	31	42	34	0.04	0.03	3.13	3.00	8.40	※ 8.25	※ 7.7	9.2			577
※ 3.28	※ 2.88	28	23	37	** 50	0.06	0.01	2.95	▽ 2.87	8.39	8.49	※ 4.5	9.0			585
※ 3.29		29		41		0.10		3.23		9.02		※ 6.1				602
3.76	4.16	28	23	40	** 52	0.03	0.04	3.09	3.07	8.78	8.65	※ 7.7	10.4			594
最終検定																602
4.20		26		39		0.03		3.92		9.18		※ 7.8				602
				要注意頭数（分娩後60日以内）												
3.35	3.45				2			3.33	3.30	8.85	8.77	6.1	9.1			
3.67	3.42							3.28	3.39	8.76	8.89	6.4	7.9			
3.88	4.13							3.35	3.24	8.81	8.75	6.6	9.3			
3.64	3.76				2			3.33	3.28	8.81	8.78	6.4	9.1			

※：3.3%以下
▽：先月比0.5～0.9%減
▼：1.0%以上減

**：分娩後60日以内
22%未満

**：分娩後60日以内
50%以上

** (*)：分娩後60日以内
(61日以上)
0.13mmol/l以上

※：2.8%以下
▽：先月比0.3～0.4%減
▼：0.5%以上減

※：8.3%以下
▽：先月比0.5～0.9%減
▼：1.0%以上減

※：8%未満または16%超

各種乳成分、疾病コード、直近体重

各項目の詳細は次ページで説明

個体検定日成績　※各欄に表示される注意マークの意味は42頁を参照

個体の検定日成績を掲載しています（並びは拡大４桁順）。乳量や体細胞数、各種成分に問題があった場

搾乳日数
長い牛は一般的に乳量が減り、
乳脂率などが上昇します

バルク影響率
ある牛の体細胞数が、バルク全体の体細
高い牛は優先的に治療しましょう

●搾乳牛

個体識別番号 (*は無登録牛)	分娩 年月日	産次	性別	難易	搾乳日数	乳量 今月	前月	前々月	最高乳量	体細胞 今月 千/ml	バルク影響率	体細胞スコア 今月	前月	前々月	牛コード	乳脂率 今月	前月	デノボ F 今月	前
00000-0647-0	24. 8.24	5	♀	1	268	32.7	32.7	33.8	43.7	105	10	3	3	3	0647	4.06	3.89	29	
00000-0649-0	24. 7.26	5	♀	1	297	32.3	33.7	31.7	40.7	34	3	1	1	1	0649	4.25	4.56	31	
00000-0672-0	25. 2. 9	5	♀	1	99	40.6	※ 43.2	44.3	44.3	28	3	1	0	0	0672	4.17	4.09	31	

分娩難易
小さいほど自然分娩に近いです
（5 段階評価）

最高乳量
1 乳期中の日乳量の最高値です

●乾乳牛 - 最終検定の情報を確認しましょう

今月の乳量の欄に最終検定日を掲載しています

個体識別番号 (*は無登録牛)	分娩 年月日	産次	性別	難易	搾乳日数	乳量 今月	前月	前々月	最高乳量	体細胞 今月 千/ml	バルク影響率	体細胞スコア 今月	前月	前々月	牛コード	乳脂率 今月	前月	デノボ F 今月	前
*** 乾乳牛 ***					乾乳日数	最終検定				最終検定						最終検定			
00000-0752-0	24. 1.20	1	♀	1	62	25. 3. 9	中止								0752				
00000-0754-0	24. 3.10	1	♀	1	23	25. 4. 4	24.6			25		1			0754	4.20		26	

乾乳日数
搾乳日数の欄に乾乳日数を掲載しています

●集計行 - 産次別・牛群全体の平均値または合計値を確認しましょう

個体識別番号 (*は無登録牛)	分娩 年月日	産次	性別	難易	搾乳日数	乳量 今月	前月	前々月	最高乳量	体細胞 今月 千/ml	バルク影響率	体細胞スコア 今月	前月	前々月	牛コード	乳脂率 今月	前月	デノボ F 今月	前
産次成績　経産牛	搾乳牛														損失乳量日計				
初　産　13頭	11頭				212	32.5	32.7	30.9	38.5	30		1.1	1.4	1.4	0.7	3.35	3.45		
2　産　6頭	6頭				129	38.0	37.2	35.3	42.7	63		1.2	1.7	2.3	1.2	3.67	3.42		
3産以上　10頭	10頭	4.1			173	38.3	39.4	37.6	45.0	28		0.9	0.8	0.8	0.8	3.88	4.13		
平均・計　29頭	27頭	2.3			179	35.9	36.0	34.4	41.7	37		1.0	1.2	1.3	2.7	3.64	3.76		

体細胞スコア
スコアの推移を産次別に確認しましょう

損失乳量日計
検定日の損失乳量（乳房
※単位は kg

合、注意マークが表示されますので、マークのついた牛を中心に確認しましょう。

胞数にどれだけ影響しているか示すものです（1%未満非表示）

疾病
疾病が報告された場合、
疾病コードを最大２つ表示します

※疾病コードは下記の９個です

1:乳房炎
2:起立不能
3:ケトーシス
4:第四胃変位
5:食滞、鼓脹症
6:消化器系、代謝障害
7:乳熱
8:肢蹄故障
0:その他

A	プレフォームFA		B H B		蛋白質率		無脂固形分率		M U N		疾病		直近体重
月	今月	前月	今月	前月	今月	前月	今月	前月	今月	前月	1	2	
29	32	33	0.03	0.03	3.87	3.51	9.49	9.27	※ 6.3	10.3			691
30	31	31	0.05	0.03	3.60	3.47	8.99	9.00	※ 6.6	※ 6.6			691
30	29	30	0.05	0.03	3.37	2.86	8.92	8.40	※ 7.6	10.8			701

デノボ FA、プレフォーム FA、BHB
牛の健康を測る指標です
詳細はP. 15へ

A	プレフォームFA		B H B		蛋白質率		無脂固形分率		M U N		疾病		直近体重
月	今月	前月	今月	前月	今月	前月	今月	前月	今月	前月	1	2	
													602
	39		0.03		3.92		9.18		※ 7.8				602

要注意頭数（分娩後60日以内）
分娩後60日以内において、低デノボ、高プレフォーム、高BHBに該当する頭数を産次別に集計
低デノボは22%未満、高プレフォームは50%以上、高BHBは0.13mmol/L以上を指します

A	プレフォームFA		B H B		蛋白質率		無脂固形分率		M U N		疾病		直近体重
月	今月	前月	今月	前月	今月	前月	今月	前月	今月	前月	1	2	
要注意頭数（分娩後60日以内）													
		2			3.33	3.30	8.85	8.77	6.1	9.1			
					3.28	3.39	8.76	8.89	6.4	7.9			
					3.35	3.24	8.81	8.75	6.6	9.3			
		2			3.33	3.28	8.81	8.78	6.4	9.1			

炎で減少した乳量）の合計値が掲載されます

個体累計成績　各ブロックの概要

検　定　成　績　表　（個体累計成績）

検定年月日	前回からの日数	検定方法
2025年 5月 6日	27日	AT朝

検定牛									検定	乳期累計				
品種	個体識別番号 (*は無登録牛)	父牛略号	生年月日	分娩 年月日	産次	性別	難易	年齢	日数	乳量	乳脂率	蛋白質率	無脂固形分率	体細胞ス 平均
	00000-0717-0	JP3H55953	18.10.15	24. 6. 5	4	♀	1	5- 7	336	10,737	4.45	3.54	8.85	3.0
	00000-0721-0	200H2792	18.11.28	25. 3. 4	5	♀	1	6- 3	64	2,674	3.98	2.90	8.16	1.5
	00000-0732-0	JP3H56191	19. 6.25	24.11.16	3	♂♀	1	5- 4	172	5,697	4.53	3.27	8.84	3.7
	00000-0747-0	7H11351	19.11.25	24. 8.14	3	♀	1	4- 8	266	10,644	4.50	2.98	8.39	3.2
後検娘	00000-0748-0	58382	19.12. 1	24.11. 6	4	♂	1	4-11	182	6,667	4.27	3.01	8.50	1.5
	00000-076					♂	1	4- 3	165					
	00000-076					♀	1	4- 1	199					
	00000-077				2	♂	2	3- 4	267					
	00000-0779-0	JP3H57288	21. 3.18	24. 7.28	2	♂	1	3- 4	283					
	00000-0781-0	JP3H56732	21. 4.18	24. 6.12	2	♀	1	3- 1	329					
	00000-0783-0	JP3H56556	21. 6.24	24. 8. 7	2	♀	1	3- 1	273	9,205	3.85	3.04	8.59	3.2
	00000-0787-0	JP5H56465	21. 7.25	24. 7.12	2	♀	1	2-11	299	9,411	4.30	3.41	8.83	治4.7
	00000-0799-0	JP3H56732	21.11.20	25. 1.18	2	♀	1	3- 1	109	4,109	4.05	3.15	8.65	2.8
	00000-0802-0	JP3H57288	21.12.29	24.11.13	2	♀	1	2-10	175	5,832	4.27	3.37	8.87	0.2
	00000-0810-0	JP3H56732	22. 7.24	24. 6.16	1	♀	1	1-10	325	10,248	4.10	3.42	9.18	2.1
	00000-0819-0	JP3H57664	22.10.23	24.11.27	1	♂	1	2- 1	161	6,248	3.94	3.01	8.62	0.4
	00000-0825-0	JP3H57843	22.12.23	24.12.21	1	♂	1	1-11	137	4,577	3.90	3.04	8.64	1.6
	00000-0827-0	JP3H57288	22.12.26	24.12. 9	1	♀	1	1-11	149	5,009	3.92	3.22	8.89	1.0
	00000-0831-0	JP3H58111	23. 3. 5	25. 2. 4	1	♀	1	1-10	92	3,084	3.79	3.31	8.87	2.0
	00000-0834-0	551H3600	23. 5.18											
	00000-0835-0	JP3H57664	23. 5.21	25. 4. 7	1	♂	2	1-10	30	1,110	3.87	3.40	8.91	1.0
	00000-0839-0	551H3600	23. 7. 6											
	00000-0841-0	JP3H58111	23. 8. 5											
	00000-0849-0	JP3H58111	23.11.24											
	00000-0850-0	JP3H58111	23.11.24											
	00000-0851-0	551H3600	23.12. 5											
	00000-0852-0	551H3600	23.12.11											
	00000-0853-0	250H14134	23.12.12											
	*** 乾乳牛 ***							乾乳月日						
	00000-0706-0	JP3H55839	18. 6.16	24. 3.28	4	♂♂	1	4.12	380	14,518	4.03	3.22	8.77	1.9
	00000-0739-0	JP3H55839	19. 8.26	24. 2. 4	3	♂	1	12. 6						
	*** 除籍牛 ***							除籍年齢						
	00000-0689-0	JP3H55839	17.11.13	24.12.23	5	死産	4	7- 5	108	3,647	3.88	3.15	8.96	1.5

牛評コード	←F	←E	←DC	→B	→A→
乳量	9,027	10,543	12,060	13,576	15,092
頭数	0	4	6	7	4	0
遺伝評価	60	119	178	237	296
頭数	0	5	16	7	5	2

			後検娘牛	
初産	6頭	(頭)		1.3
2産	7頭	(頭)		2.4
3産以上	8頭	(1頭)		2.3
平均・計	21頭	(1頭)		2.1

品
疾病
健康注意: 分娩後60日以内 デノボFA 22%未満、BHB 0.13mmol/l以上のいずれかに該当

エアシャー　GUE: ガーンジー　MSH: ミルキングショ

プロフィール

乳期の乳生産

搾乳牛

乾乳牛

除籍牛

集計行

牛評（乳量と遺伝評価）

農家名：北酪検牧場

公益社団法人 北海道酪農検定検査協会

コア5以上回数	疾病回数	健康注意	牛コード	305日実量または期待量 乳量	乳脂率	蛋白質率	無脂固形分率	補正乳量	牛評 乳量	遺伝評価	通算乳量	管理・繁殖の状況 乾乳日数	今産分娩間隔	空胎日数	授精 月日	回数	種雄牛	ET	分娩予定日	次産分娩間隔	管理コード
			0717	10,154	4.45	3.51	8.83	10,507	E	D	39,793	97	410	221	1.12	3	HK312		25.10.18	* 500	妊　娠
			0721	10,900	3.92	3.10	8.36	10,600	D	E	50,149	50	353	63							
1	1		0732	9,700	4.36	3.35	8.86	9,500	E	D	38,697	56	* 629	166	5. 1	2	PK1045				妊未確
		注	0747	11,700	4.39	3.06	8.44	12,700	C	D	33,077	167	* 521	215	3.17	3	JP3H58612				妊鑑予
1			0748	10,500	4.20	3.13	8.57	10,400	E	D	37,394	57	396	138	3.24	4	HK312				妊未確
												82	* 511	77	10.13	1	JP3H58982		25. 7.19	356	乾予定
												56	377	254	2.21	7	HK312		25.11.27	* 533	妊　娠
			0783	10,100	3.94	3.12	8.66	12,100	C	C	20,744	59	* 444	80	10.26	1	JP3H58612X		25. 8. 1	359	乾予定
7			0787	9,700	4.27	3.38	8.81	11,700	D	D	18,973	58	372	198	1.26	2	HK312		25.11. 1	* 477	妊　娠
		注	0799	10,100	4.04	3.25	8.73	11,400	D	D	12,751	70	410	65	3.24	1	JP4H58800				妊未確
			0802	9,500	4.30	3.44	8.92	10,800	D	D	13,308	58	338	97	2.18	2	JP3H58155		25.11.24	376	妊　娠
		注	0810	9,789	4.07	3.39	9.15	13,953	B	A	10,248			136	10.30	2	JP3H58612		25. 8. 5	415	乾予定
			0819	10,800	3.92	3.17	8.79	13,800	B	C	6,248			86	2.21	2	JP3H58612		25.11.27	365	妊　娠
		注	0825	9,600	3.90	3.19	8.80	12,600	C	D	4,577			81	3.12	1	551H3797				妊鑑予
			0827	9,800	3.91	3.31	8.95	12,700	C	D	5,009			91	3.10	2	JP3H58982				妊鑑予
			0831	9,700	3.93	3.39	8.97	13,400	C	C	3,084			91							授適期
			0834												9.23	2	JP3H58355X		25. 6.29		妊　娠
			0835	10,600	3.81	3.30	8.92	14,800	B	C	1,110			29							
			0839												8.26	1	551H4119		25. 6. 1		妊　娠
			0841							E					10.17	2	JP3H58612		25. 7.23		妊　娠
			0849							C					12.23	1	JP3H58982		25. 9.28		妊　娠
			0850							D					2.26	2	JP3H58612X				
			0851												1.25	1	JP3H58612X		25.10.31		妊　娠
			0852												3.14	2	JP3H57843X				妊鑑予
			0853							B					1.15	1	JP3H58155X		25.10.21		妊　娠
																					乾乳経過日数
		注	0706	12,456	3.96	3.16	8.72	12,285	C	D	56,828	69	* 588	161	9. 5	3	JP3H58612		25. 6.11	* 440	25
			0739							C	36,063	97	406	188	8.10	5	JP3H58612		25. 5.16	* 467	152
												総搾乳日数							除籍年月日		除籍理由
		注	0689								46,374	1404							25. 4.22		乳房炎
												乾乳日数									
				10,056	3.92	3.29	8.93	13,542			5,046			86							
				10,390	4.09	3.25	8.70	12,144			18,951	68		122							
				10,698	4.15	3.20	8.63	10,874			39,189	87		150							
				10,412	4.07	3.24	8.74	12,060			24,122	79		124							

・305日実量または期待量・牛評・通算乳量

繁殖成績

産次別および全体集計

*: 今産・次産分娩間隔424日以上

用種　CRO: その他交雑

D: 供卵牛
E: 受卵(ET)牛

各項目の詳細は次ページで説明

個体累計成績　※品種と管理コードの一覧は 60～61 頁を参照

個体ごとに 1 乳期の成績を掲載しています（通算乳量のみ複数乳期にまたがって計算）。

●搾乳牛

検定牛のプロフィール
品種や父牛の略号、分娩年月日、産次、産子の性別など、
牛の基本情報を確認できます

体細胞スコア
体細胞スコアの乳期平均と５以
５以上回数が４回を超えた牛に
治療必要牛として「治」を表示

検定牛									検定日数	乳期累計								牛コード	305日実量または期			
品種	個体識別番号 (*は無登録牛)	父牛略号	生年月日	分娩 年月日	産次	性別	難易	年齢		乳量	乳脂率	蛋白質率	無脂固形分率	体細胞スコア 平均	体細胞スコア 5以上回数	疾病回数	健康注意		乳量	乳脂率	蛋白質率	無脂固形分率
	00000-0717-0	JP3H55953	18. 10. 15	24. 6. 5	4	♀	1	5- 7	336	10,737	4.45	3.54	8.85	3.0				0717	10,154	4.45	3.51	8.83
	00000-0721-0	200H2792	18. 11. 28	25. 3. 4	5	♀	1	6- 3	64	2,674	3.98	2.90	8.16	1.5				0721	10,900	3.92	3.10	8.36

疾病回数・健康注意
疾病回数：分娩後の疾病報告があった回数
健康注意：分娩後 60 日以内に高 BHB もしくは低デノボになった牛に「注」と表示
※高 BHB は 0.13mmol/L 以上、低デノボ 22%未満

●乾乳牛（上行）- 乾乳牛の状況をつかみましょう（乳期累計と「305 日実量または期待量」につい

●除籍牛（下行）- 除籍牛の通算のデータを確認しましょう（検定月に除籍報告のあった牛のみ掲載）

検定牛									検定日数	乳期累計								牛コード	305日実量または期			
品種	個体識別番号 (*は無登録牛)	父牛略号	生年月日	分娩 年月日	産次	性別	難易	年齢		乳量	乳脂率	蛋白質率	無脂固形分率	体細胞スコア 平均	体細胞スコア 5以上回数	疾病回数	健康注意		乳量	乳脂率	蛋白質率	無脂固形分率
	*** 乾乳牛 ***							乾乳月日														
	00000-0706-0	JP3H55839	18. 6. 16	24. 3. 28	4	♂♂	1	4. 12	380	14,518	4.03	3.22	8.77	1.9			注	0706	12,456	3.96	3.16	8.72
	*** 除籍牛 ***							除籍年齢														
	00000-0689-0	JP3H55839	17. 11. 13	24. 12. 23	5	死産	4	7- 5	108	3,647	3.88	3.15	8.96	1.5			注	0689				

乾乳月日　　除籍年齢

●集計行 - 各産次もしくは牛群全体の平均・合計を確認しましょう

牛評のうち、「補正乳量」のコードの閾値と
各コードの頭数分布を掲載

牛評コード	←F	←E	←DC	→B	→A
乳量	9,027	10,543	12,060	13,576	15,092
頭数	0	4	6	7	4	0
遺伝評価	60	119	178	237	296
頭数	0	5	16	7	5	2

		後検娘牛	体細胞スコア 平均	体細胞スコア 5以上回数	疾病回数	健康注意	牛コード	305日実量または期 乳量	乳脂率	蛋白質率	無脂固形分率
初産	6頭	(頭)	1.3					10,056	3.92	3.29	8.93
2産	7頭	(頭)	2.4					10,390	4.09	3.25	8.70
3産以上	8頭	(1頭)	2.3					10,698	4.15	3.20	8.63
平均・計	21頭	(1頭)	2.1					10,412	4.07	3.24	8.74

牛評のうち、「遺伝評価」のコードの閾値と
各コードの頭数分布を掲載

各産次と牛群全体での合計頭数

上回数を掲載は、

牛評
補正乳量と全国遺伝評価（産乳成分）の牛群内順位を、A～F の 6 段階のコードで評価（最良は A）

待量	牛評			管理・繁殖の状況										管理
補正乳量	乳量	遺伝評価	通算乳量	乾乳日数	今産分娩間隔	空胎日数	授精 月日	授精 回数	授精 種雄牛	授精 ET	分娩予定日	次産分娩間隔		管理コード
10, 507	E	D	39, 793	97	410	221	1. 12	3	HK312		25. 10. 18	*	500	妊娠
10, 600	D	E	50, 149	50	353	63								

管理コード
現時点の牛の繁殖状況が掲載
繁殖において次に何をすべきかの目安

通算乳量
生まれてから検定日までに搾った総乳量

次産分娩間隔
前回分娩日から分娩予定日までの日数
間隔が長いと泌乳日数や乾乳日数も長くなり、分娩時の事故や過肥のリスクが増大します

ては、新規乾乳牛のみ値が表示）

待量	牛評			管理・繁殖の状況										管理
補正乳量	乳量	遺伝評価	通算乳量	乾乳日数	今産分娩間隔	空胎日数	授精 月日	授精 回数	授精 種雄牛	授精 ET	分娩予定日	次産分娩間隔		管理コード
														乾乳経過日数
12, 285	C	D	56, 828	69	* 588	161	9. 5	3	JP3H58612		25. 6. 11	*	440	25
				総搾乳日数							除籍年月日			除籍理由
			46, 374	1404							25. 4. 22			乳房炎

乾乳経過日数
乾乳経過日数が長すぎる場合は要注意
次の分娩に支障が出る可能性があります

検定時に報告された除籍理由

除籍までの通算乳量と総搾乳日数

除籍年月日

待量	牛評			管理・繁殖の状況										管理
補正乳量	乳量	遺伝評価	通算乳量	乾乳日数	今産分娩間隔	空胎日数	授精 月日	授精 回数	授精 種雄牛	授精 ET	分娩予定日	次産分娩間隔		管理コード
				乾乳日数										
13, 542			5, 046			86								
12, 144			18, 951	68		122								
10, 874			39, 189	87		150								
12, 060			24, 122	79		124								

補足：個体検定日成績の注意マーク

個体検定日成績の乳量、体細胞数、各成分値の欄に表示される注意マークとその意味についてまとめました。

乳量				体細胞					牛コード	乳脂率	
					体細胞スコア						
今月	前月	前々月	最高乳量	今月 千/ml	バルク影響	今月	前月	前々月		今月	前月
17.3	20.0	▼ 20.2	44.4	108	5	3	4	3	0717	4.44	4.57
47.2	43.4	日不	47.2	24	3	1	2		0721	3.66	3.81
34.9	▽ 30.3	▽ 34.2	41.5	45	4	2	3	3	0732	4.17	4.42

① 乳量
- ▼：先月比 20%以上減
- ▽：先月比 10～20%減
- ※：ピーク時（検定 60 日以内で先月比）減

② 体細胞スコア
- ▲：7 以上
- △：5・6
- 注：3 ヵ月平均 5 以上

③ 乳脂率
- ▼：先月比 1.0%以上減
- ▽：先月比 0.5～0.9%減
- ※：3.3%以下

デノボFA		プレフォームFA		BHB		蛋白質率		無脂固形分率		MUN	
今月	前月	今月	前月	今月	前月	今月	前月	今月	前月	今月	前月
30	29	32	32	0.02	0.06	4.09	4.02	9.29	9.20	11.2	13.3
29	25	36	46	0.05	0.11	※ 2.76	※ 2.76	※ 7.99	※ 8.08	10.1	11.7
31	29	29	33	0.04	0.04	3.46	3.41	9.08	9.05	10.0	9.0

④ デノボ FA
- **：分娩後 60 日以内で 22%未満

⑤ プレフォーム FA
- **：分娩後 60 日以内で 50%以上

⑥ BHB
- **：分娩後 60 日以内で 0.13mmol/L 以上
- *：分娩後 61 日以上で 0.13mmol/L 以上

⑦ 蛋白質率
- ▼：先月比 0.5%以上減
- ▽：先月比 0.3～0.4%減
- ※：2.8%以下

⑧ 無脂固形分率
- ▼：先月比 1.0%以上減
- ▽：先月比 0.5～0.9%減
- ※：8.3%以下

⑨ MUN
- ※：8%未満または 16%超

Ⅲ．用語・略語および検定成績の計算方法

用語・略語

成績集計期間

・**飼養日数**

1 年間に牛が経産牛として在籍していた日数。ただし、下記の期間は計算に含めない:

[1] 実施牛で乳量の非公式となっている区間

[2] 乾乳牛で乾乳直前の検定日間成績が計算不可となっている区間

[3] 乾乳牛で乾乳前の乳期について 1 回も搾乳記録がない場合の乾乳期間

・**総飼養日数**

1 農家の 1 年間の全牛における飼養日数を合計したもの

・**最近 1 ヵ年**

検定日を起点とする 12 ヵ月

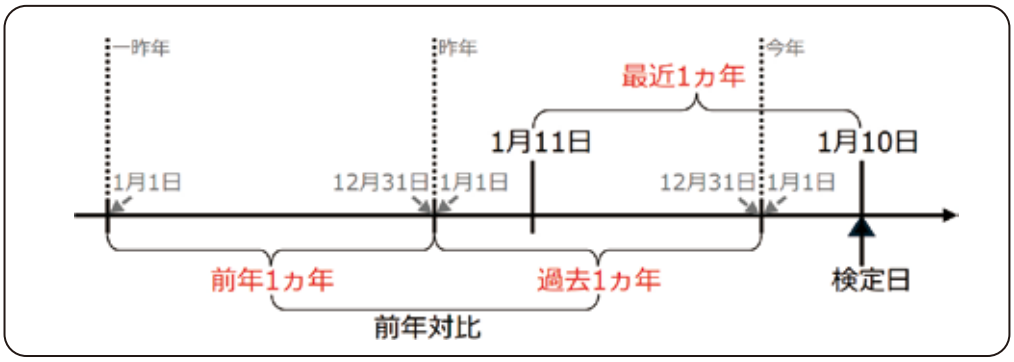
・**過去 1 ヵ年**

検定日から 1 年前の年月の初日～検定日前月末日

※ 過去 3 ヵ月、過去 6 ヵ月等も同様 (例 2026/01/10 検定の場合、過去 3 ヵ月は 2025/10/01～2025/12/31、過去 6 ヵ月は 2025/07/01～2025/12/31)

・**前年 1 ヵ年**

過去 1 ヵ年のさらに 1 年前



牛の状態

・**未経産牛**

分娩歴のない牛

・**経産牛**

分娩歴のある牛

・**乾乳牛**

検定日時点で (最終分娩日) < (最終乾乳日)の牛

・**搾乳牛**

検定日時点で (最終乾乳日) < (最終分娩日)または初産分娩後搾乳継続中の牛で、分娩後日数 7 日以上のもの。検定中止の牛(検定日乳量成績のない牛)も含む

・**実施牛**

検定日乳量成績のある牛

・**日数不足牛**

検定日時点で分娩後日数 6 日以下の牛

・**検定中止牛**
搾乳牛のうち今回検定で乳量成績のない牛

・**受胎牛**
最終授精報告に対し受胎報告のあった牛、あるいは最終授精報告から 70 日以上経過し別の授精報告、発情、流産、「繁殖に供さない」の報告のない牛。後者については NR70 と呼んで区別することもある

・**繁殖に供さない牛（繁殖供用不牛）**
「繁殖に供さない」の報告があり、その後に授精報告のない牛。今後授精・分娩予定のない牛とみなし、繁殖関連の成績の計算においては集計対象外とする

日付・日数

・**分娩後日数**
分娩当日を 1 日目とした分娩からの経過日数で、「搾乳日数」も同義

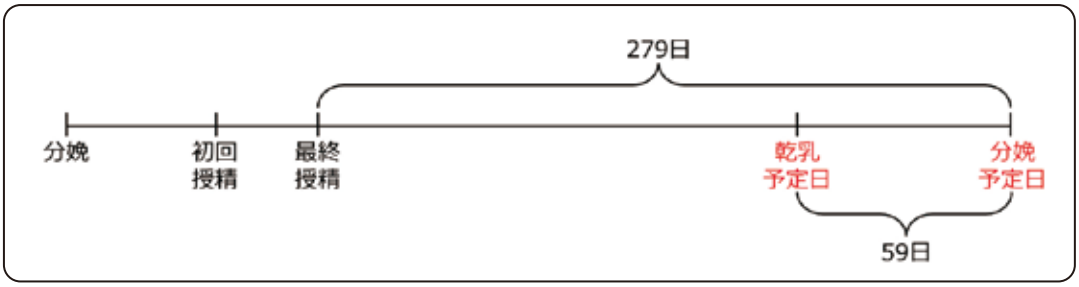
・**初回授精日数**
(分娩後の初回授精日) − (分娩日)

・**空胎日数**
(最終授精日) − (分娩日)

・**分娩間隔**
(分娩日) − (前回分娩日)

・**乾乳予定日**
(分娩予定日) − 59 日

・**分娩予定日**
(最終授精日) + 279 日　(ET の場合: (最終授精日) + 272 日)



乳量等の成績

・**成績**

後述の検定日成績、検定日間成績および乳期成績などの「成績」は、乳量、乳脂量等の総称。特定の項目に対しては「検定日乳量」、「通算乳量」といった呼び方をする

・**検定日成績**

検定当日 1 日分の乳量等の成績

[1] 乳量

(1) A4 検定、パーラーAT 検定: 各搾乳回で実測された乳量の合計

(2) AT 検定: 立会時の実測乳量、搾乳時間帯および搾乳間隔からの推定値

(3) AZ、自動検定: 過去の乳量記録および搾乳間隔からの推定値

[2] 乳脂率

(1) A4 検定: 実測値

(2) AT、パーラーAT 検定: 実測値、搾乳時間帯および搾乳間隔からの推定値

(3) AZ、自動検定: 実測値等からの推定値

[3] その他の成分率: 実測値。自動検定で 1 頭につき複数サンプルが取得された場合のみ、乳量(脂肪酸組成のみ乳脂量)による加重平均

[4] 成分量: (日乳量)×(成分率)

・**検定日間成績**

ある検定の翌日から次の検定当日までの乳量等の成績。

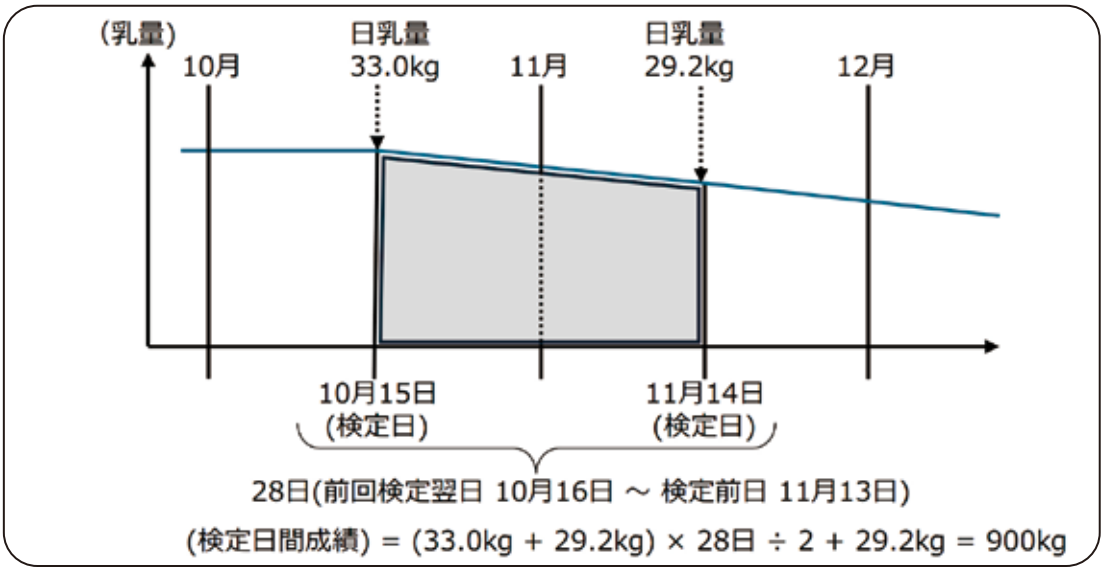
[1] 分娩後初回の検定: 初回検定成績と分娩後日数から計算

[2] 乳期途中: 前月検定と今月検定の成績および検定日間の日数から計算

[3] 乾乳後: 乾乳前の最終検定成績と最終検定～乾乳までの日数から計算

前月の成績が検定中止で、前々月と今月の検定日成績のある場合には、前々月と今月の成績から 2 ヵ月分の検定日間成績を計算する。これを「検定日間成績の推定」といい、前回検定より 40%以上乳量が減少し検定前々日～検定当日に発情または授精報告があるか検定当日に疾病報告のある場合にもこの推定計算を適用する

例) 2025/10/15 検定で日乳量 33.0kg、2025/11/14 検定で日乳量 29.2kg



※ この例は乳期途中の場合の計算方法であり、「分娩直後」、「ピーク」、「最終検定～乾乳」では補正計算を適用する

・**検定日数**

ある乳期における分娩後日数のうち、検定日間成績を計算できた日数
※ 下記の「非公式」も参照

・**非公式**

次のいずれかに該当する乳期。[1][2]の場合、該当する期間の検定日間成績は計算不可

[1] 初回検定時の分娩後日数が 63 日以上
[2] 2 ヵ月連続で検定中止
[3] 1 乳期で 3 回以上検定日間成績の推定が発生

なお、次の場合には前回検定翌日～乾乳日までの検定日間成績は計算対象外となり検定日数にも含まないが、乳期成績は非公式にはならない。

[1] 今回乾乳報告のあった牛において分娩から乳量の記録された最終検定までの日数が 40 日未満の場合
[2] 乳量の記録された最終検定翌日から乾乳前日までの日数が 58 日以上

・**乳期成績**

検定日間成績を 1 乳期分すべて合計したもの。1 乳期は、乾乳または次産分娩によって完了する。「累計成績」も同義

・**305 日成績**

乳期成績から、分娩後 305 日までの成績を推定計算したもの。分娩後 305 日未満で乳期完了した場合には計算対象外

・**305 日期待成績**

分娩後 305 日未満の未完了乳期について、305 日成績を推定計算したもの。当該牛の検定成績のほか過去の全道の検定成績も考慮した「MTP 法」という手法により計算する

・**補正乳量**

様々な月齢で分娩した牛から得られる 305 日成績を、72 ヵ月齢で分娩したものとして補正計算したもの。「成牛換算」とも呼ぶ

・**通算成績**

誕生から除籍までのすべての乳期成績の合計で、非公式、未完了の乳期も含む
※ 公式かつ完了した乳期の記録のみの合計を「生涯成績」と呼ぶ

・**管理乳量**

様々な条件で取得された検定日成績を「2 産、搾乳日数 150 日、4 月分娩、分娩月齢 36～38 ヵ月」で得られたものとなるよう検定日乳量、乳脂量および無脂固形分量に補正係数を掛け、さらにそれらを固形分補正したもので、分娩後 305 日までの牛に対して計算する。

(管理乳量) = − 0.0752×(乳量補正係数) ×(日乳量)
+12.30 ×(乳脂量補正係数) ×(日乳脂量)
+ 6.56 ×(無脂固形分量補正係数)×(日無脂固形分量)

※ 上記の式のうち、赤文字部分が産次や搾乳日数等の補正、それ以外が固形分補正

・**乳代**

(検定日乳量)×(補給金単価)+(検定日乳脂量)×(乳脂肪分単価)
+(検定日無脂固形分量)×(無脂固形分単価)

※ 検定成績の計算時点では当該年月の乳価は未確定のため、まず 2 ヵ月前の単価で計算し、2 ヵ月後の乳価確定時に再計算する

例) 2026 年 1 月乳価

[1] 2025 年 12 月途中に「2025 年 11 月分の乳価」が確定
[2] 2026 年 1 月の乳代を暫定的に「2025 年 11 月分の乳価」で計算
[3] 2026 年 2 月途中に「2026 年 1 月分の乳価」が確定、
このとき、2026 年 1 月分の乳代を確定した乳価で再計算

・**乳価**

(乳代)÷(検定日乳量)

※ 乳量 1kg 当りの乳代

・**損失乳量**

(検定日乳量)×(乳量損失率[%])÷100

※ 乳量損失率の定義については下記の「体細胞スコア」を参照

・**損失乳代**

(損失乳量)×(乳価)

・**体細胞スコア (SCS: Somatic Cell Score)**

体細胞数を対数変換したもので、体細胞数・乳量損失率の対応は以下のようになる

体細胞スコア	体細胞数範囲 (千)			乳量損失率(1 日) 初産	2 産以上
1	18	~	35	0	0
2	36	~	70	0	0
3	71	~	141	2.1	2.5
4	142	~	282	2.6	3.3
5	283	~	565	3.0	3.7
6	566	~	1,131	3.5	4.1
7	1,132	~	2,262	4.9	5.4
8	2,263	~	4,525	8.0	8.4
9	4,526	~		14.1	14.8

略語

- **BHB (β-hydroxybutyrate)**
  β-ヒドロキシ酪酸

- **MUN (Milk Urea Nitrogen)**
  乳中尿素態窒素

- **NTP**
  Nippon Total Profit index (総合指数)の略で、種雄牛の総合的な遺伝的能力を示す指数。家畜改良センターが計算・公表しており、NTP の高い種雄牛を使用することにより産乳性、繁殖性、長命性等の総合的な改良を見込める

- **NR70（ノンリターン 70）**
  最終授精報告から 70 日以上経過し別の授精報告、発情、流産、「繁殖に供さない」の報告のない牛を自動的に受胎扱いとしたもの

その他

- **濃厚飼料給与量、濃厚飼料費**
  濃厚飼料のみの給与量および購入費

- **購入飼料給与量、購入飼料費**
  濃厚飼料および購入粗飼料の給与量および購入費

検定成績の計算方法

検定成績表（牛群）

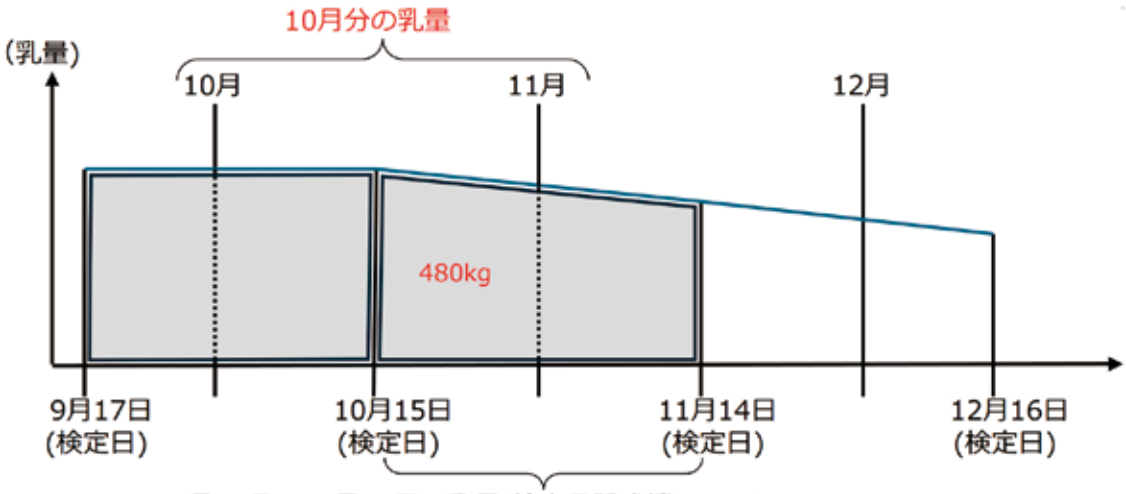
A-1 年間累計

過去 1 ヵ年(P. 45 参照)に期間の含まれる検定日間成績を月ごとに分割し、期間内の成績をすべて合計したもの。検定日間成績は基本的に 2 ヵ月にまたがる(前回検定翌日～今回検定日)ため、

(検定日間成績) ÷ (前回検定翌日～今回検定日の日数)

を 1 日当たりの成績とし、これに計算対象の月に含まれる日数を掛け、当該月内の成績とする

例) 2025/10/15 検定、2025/11/14 検定で検定日間成績(乳量)が 900kg



10月16日～11月14日の乳量(検定日間成績): 900kg
↓
1日当たりの乳量: 900kg ÷ (16日 + 14日) = 30kg/日
(10月16日 [検定翌日]～10月31日まで16日、11月1日～11月14日まで14日)
↓
10月16日～10月31日の成績は 30kg/日 × 16日 = 480kg
↓
同様に、9月18日～10月15日の検定日間成績から10月1日～10月15日の乳量を計算
↓
10月1日～15日、10月16日～10月31日の乳量を加算し「10月分の乳量」を計算
↓
同様の計算を1年分実施、加算して「1年間の乳量」(年間累計)を計算
↓
所属する全牛について年間累計を加算、当該農家の「年間累計」とする

・**乳量、乳代、購入飼料給与費、濃厚飼料給与費、濃厚飼料給与量、乳代－購飼費**

過去 1 ヵ年の年間累計。前年対比は前年 1 ヵ年(P. 45 参照)に対する過去 1 ヵ年成績の比率

・**乳飼比**

(過去 1 ヵ年の購入飼料費) ÷ (過去 1 ヵ年の乳代) × 100

※ 前年対比は前年 1 ヵ年と過去 1 ヵ年の差

例) 過去 1 ヵ年の乳飼比が 16%、前年 1 ヵ年の乳飼比が 17%

(乳飼比前年対比) = 16 − 17 = −1[%]

A-2 検定日成績

いずれも、1 ヵ年平均は最近 1 ヵ年のうち検定中止でない月のみの平均値

・**検定乳量**
各月(今月、前月、1 年前)の全実施牛における日乳量の合計

・**出荷乳量**
各月に報告された出荷乳量と自家消費量の合計

・**比率**
各月の検定乳量の出荷乳量(自家消費量も含む)に対する比率(%)、1 ヵ年平均については最近 1 ヵ年のうち検定中止でない月の検定乳量合計と出荷乳量合計の比率

・**乳代**
各月の全実施牛における乳代の合計

A-3 検定日牛群構成

・**年齢、頭数**
12 ヵ月齢以上の未経産牛頭数と検定時月齢の平均、および初産から 5 産以上の各産次区分における頭数と分娩月齢の平均。経産牛については乾乳も含め在籍牛すべてを集計対象とする。なお、「平均」欄は年齢、産次とも未経産牛を含まない

・**搾乳日数**
搾乳牛と日数不足牛の平均分娩後日数

・**比率**
経産牛全頭を 100%としたときの産次ごとの頭数割合

・**日乳量**
実施牛における日乳量の平均。なお、検定中止牛、日数不足、乾乳牛は計算に含めない

・**出荷比率**
実施牛における日乳量の産次別合計の、農家全体の日乳量合計に占める割合
例) 初産の日乳量合計が 200kg、農家全体の日乳量合計が 1000kg
(初産の出荷比率) = 200 ÷ 1000 × 100[%] = 20[%]

A-4 経産牛 1 頭当り年間成績

・**乳量**
起点となる検定月における年間累計乳量を「実頭数」で割ったもの
※1 実頭数: 総飼養日数を年間日数で割った値。年間日数は 365 日(通常)または 366 日(閏年)で、1 頭の経産牛を 1 年間継続して飼養すると実頭数は 1 となる
※2 「最新」行は過去 1 ヵ年の成績。つまり【年間累計】欄の乳量を実頭数で割った値

・**乳脂、蛋白、無脂**
起点となる検定月における年間累計乳成分量を年間累計乳量で割ったもの

A-5 年間 305 日成績

乳期完了日が最近 1 ヵ年以内かつ搾乳日数 240 日以上 304 日以下である牛の乳期成績と、最近 1 ヵ年内に 305 日成績の完成した牛の 305 日成績の集計。なお、305 日時点(未到達牛は乳期全体)で非公式の牛は集計対象外

- **240～305 日間成績**
  305 日または乳期成績の産次別および農家全体の平均
- **補正乳量分布**
  農家全体における補正乳量(P. 48 参照)のパーセント順位(最上位を 100%、最下位を 0%としたときの順位)を元にした 20%ずつの境界値と各区分に含まれる頭数。たとえば「80%～」の欄には農家内で上位 20%の牛が含まれる

B-1 直近 13 ヵ月成績 牛群構成

- **経産牛、搾乳牛、乾乳牛**
  それぞれ、各検定日時点での経産牛、搾乳牛、乾乳牛の頭数
- **分娩**
  各年月に当該農家で報告された分娩の件数(初産、乳用雌は内数)。ただし、「乳用雌」については分娩前の最終授精が肉用種でない(乳用種または不明)場合のみ集計対象とするほか、雌双子の場合には 2 とカウントし、フリーマーチン(雌雄双子)は計算に含めない
- **除籍(経産牛)**
  各年月に除籍された経産牛の頭数。分娩後 30 日以内の除籍であれば「～30 日」、分娩後 31～60 日の除籍であれば「31～60 日」のカウント対象とする
- **搾乳日数**
  各検定日時点での搾乳牛と日数不足牛の平均分娩後日数

B-2 直近 13 ヵ月成績 検定日成績/1 頭平均

- **管理乳量**
  各月実施牛における管理乳量(P. 48 参照)の平均
- **乳量**
  各月実施牛における日乳量の平均
- **乳脂、蛋白、無脂**
  各月実施牛における (日成分量の合計) ÷ (日乳量の合計) × 100
- **MUN**
  各月実施牛における ((MUN)×(日乳量)の合計) ÷ (日乳量の合計) × 100
- **デノボ FA**
  各月実施牛における ((デノボ FA)×(日乳脂量)の合計) ÷ (日乳脂量の合計) × 100

B-3 直近 13 ヵ月成績 健康指標

・**泌乳初期 低デノボ**
各月分娩後 60 日以内の牛のうち、デノボ FA が 22%未満の頭数

・**泌乳初期 高 BHB**
各月分娩後 60 日以内の牛のうち、BHB が 0.13mmol/L 以上の頭数

・**体細胞 平均**
各月実施牛における (体細胞数×日乳量の合計) ÷ (日乳量の合計) × 100

・**損失乳代**
各月実施牛における 1 ヵ月間の損失乳代の合計:
(1 頭の損失乳代) = (各月損失乳量)×(乳価)×(各月の日数)

・**体細胞スコア平均**
各月実施牛における体細胞スコアの平均

・**体細胞スコア 2 以下、3～4、5 以上**
各月実施牛における各体細胞スコア区分に該当する牛の割合

・**体細胞スコア 新規 5 以上**
各月実施牛における体細胞スコア 5 以上かつ下記のいずれかに該当する割合
[1] 前月の体細胞スコアが 5 未満、あるいは前月まで検定未加入か未経産
[2] 前月が検定中止かつ乳房炎報告なし、前々月も乳量がないか体細胞スコアが 5 未満
[3] 前月乾乳または日数不足で、前産次の最終検定～今月までに除籍期間がある
[4] 前月乾乳または日数不足で、前産次の最終検定～今月までに除籍期間がなく、
下記のいずれかに該当:
(1) 前産次最終検定で体細胞スコアが 5 未満
(2) 最終検定で乳量がなく、その後の乾乳と日数不足の期間で乳房炎報告がない

B-4 直近 13 ヵ月成績 繁殖管理（経産牛）

※ 最終乳期に「繁殖に供さない」の報告のある場合、最終乳期の記録は集計対象外

・**授精**
各年月に当該農家で報告された授精の件数。連注(授精当日を 1 日目としてから 10 日目までの再授精)は 1 件として数える

・**受胎**
各年月の授精記録のうち受胎の確定した件数

・**受胎率**
(受胎頭数) ÷ (授精件数) × 100[%] （「初回」列は授精回数 1 の記録のみの集計値)

・**100 日以上未授精**
各検定日時点で分娩後 100 日以上経過していて、最終分娩後に授精報告のない頭数

・**200 日以上空胎**
各検定日時点で分娩後 200 日以上経過していて、受胎していない頭数

B-1 2 3 4 直近 13 ヵ月成績 平均・計

過去 1 ヵ年の集計。背景色が白の場合には平均、灰色の場合には合計を意味する
※1 泌乳初期列については、1 乳期に複数回該当する場合にも 1 と数える。たとえば 1 頭の牛が分娩後 60 日以内に 2 回検定を受け、2 回とも高デノボ条件に該当した場合、「平均・計」欄の集計では 2 ではなく 1 と数える
※2 受胎率については 12 ヵ月前～3 ヵ月前の 10 ヵ月分を集計
(受胎未確定年月を除外するため)

B-1 2 3 4 直近 13 ヵ月成績 前年成績

前年 1 ヵ年の集計。列ごとの集計方法は「平均・計」と同一
※ 受胎率のみ「平均・計」と異なり、他の列と同様に 24 ヵ月前～13 ヵ月前の集計

C-1 月別分娩予定頭数

・**分娩**
検定日時点で受胎している牛における、分娩予定年月別の頭数。「初産」欄は、検定日時点で未経産の牛における分娩予定年月別頭数

・**産子内訳**
分娩予定牛の最終授精略号から品種を判定し、肉用種(和牛等)の授精であれば「肉用」、それ以外の授精であれば「乳用」としたときの、それぞれの品種の分娩予定年月別頭数

・**予測頭数**
搾乳牛と日数不足牛の頭数を基準に、月ごとの分娩予定頭数と乾乳予定頭数を考慮して求めた、各月末時点での搾乳頭数および乾乳頭数。ただし、検定日時点で乾乳予定日((分娩予定日) - 59 日)を超過して未乾乳の牛については乾乳頭数の計算対象としない
例) [1] 検定日時点で搾乳牛と日数不足牛が 60 頭、乾乳牛が 15 頭
[2] 月末までの分娩予定頭数が 5 頭(すべて乾乳牛)、乾乳予定頭数が 3 頭
→ (次月の予測搾乳頭数) = 60 + 5 − 3 = 62 (分娩頭数を足し、乾乳頭数を引く)
(次月の予測乾乳頭数) = 15 − 5 + 3 = 13 (乾乳頭数を足し、分娩頭数を引く)

D-1 検定日個体分布

・**上段 (乳量区分別頭数)**
実施牛の産次、分娩後日数、日乳量区分別の頭数

・**下段 (平均等)**
実施牛の産次、分娩後日数区分ごとの検定日成績の平均等:
[1] 乳量、体細胞スコア: 単純平均
[2] 乳脂率、蛋白質率、乳糖率、MUN、体細胞数: 乳量による加重平均
[3] P/F 比: (平均蛋白質率) ÷ (平均乳脂量率) × 100[%]
[4] 体細胞スコア 5 以上頭数: 体細胞スコア 5 以上の頭数

D-2 泌乳初期要注意牛

・**要注意頭数**
乳脂率 3.5%以下、乳脂率 5.0%以上、蛋白質率 2.8%以下、BHB 0.13mmol/L 以上、デノボ FA 22%未満のいずれかに該当する頭数

・**総頭数**
各産次区分における、分娩後 30 日以内、31 日～60 日以内の実施牛の頭数

・**下段**
各要注意基準に該当する頭数
例) 1 頭の牛が乳脂率 3.5%以下、蛋白質率 2.8%以下の両方に該当
→ 乳脂率≦3.5%、蛋白質率≦2.8%の頭数にそれぞれカウントする。ただし、「要注意頭数」については 1 とカウントする

E-1 2 年間追加除籍牛

・**1 年前**
期首(12 ヵ月前の検定日)における産次ごとの頭数

・**追加**
直近 12 回の検定にて追加された頭数

・**除籍頭数(売却)**
直近 12 回の検定にて除籍された頭数と、そのうち乳用売却で除籍された頭数

・**淘汰率**
直近 12 回の検定にて乳用売却以外の理由で除籍された牛の、1 年前頭数に対する割合

・**30 日以内除籍**
検定日の 13 ヵ月前月初～2 ヵ月前末日までに当該農家で分娩した牛のうち、分娩後 30 日以内に除籍された割合(検定日時点で分娩後 2 ヵ月経過した記録のみが集計対象)

・**通算乳量**
直近 12 回の検定にて除籍された牛における、除籍日までの各産次の乳期乳量の合計。未完了や非公式の乳期も含む

F-1 分娩間隔・乾乳

※ 除籍牛も集計に含む

・**分娩間隔**
過去 1 ヵ年に分娩した頭数、ならびに分娩間隔の日数区分別頭数および平均。前回産次と今回産次の差が 1 である記録のみ集計対象とする

・**乾乳日数**
過去 1 ヵ年に分娩した牛のうち分娩前の乾乳記録のある頭数、ならびに乾乳日数区分別頭数および平均

F-2 空胎日数

・**空胎日数**
過去 1 ヵ年の授精のうち受胎確認された記録における空胎日数の日数区分別頭数と平均で、除籍牛も集計に含む

・**授精回数**
検定日時点で受胎している在籍牛の最終授精回数の平均

・**分娩間隔予定平均**
検定日時点で受胎している在籍牛がすべて予定日に分娩した場合の分娩間隔の平均

・**繁殖に供さない**
在籍牛で「繁殖に供さない」の報告のある頭数。ただし、「繁殖に供さない」の報告より後に授精報告のある牛については集計対象外

F-3 授精状況

※ 除籍牛も集計に含む。最終乳期に「繁殖に供さない」の報告のある牛は集計対象外

・**初回授精日数**
過去 3 ヵ月、過去 6 ヵ月および過去 1 ヵ年の間に報告された分娩後の初回授精に対し、分娩から授精までの日数の区分別割合、合計頭数、平均

・**授精間隔**
過去 3 ヵ月、過去 6 ヵ月および過去 1 ヵ年の間に報告された 2 回目以降の授精に対し、前回授精から今回授精までの日数の区分別割合、合計件数、平均

・**受胎率**
過去 1 ヵ年の授精記録のうち、受胎未確定記録の含まれる過去 2 ヵ月分の記録を除外したときの日数区分別の受胎率 ((受胎頭数) ÷ (授精件数) × 100)。初回授精全体の受胎率については「平均」列の最下段、2 回目以降授精全体の受胎率については「2 回目以降授精」列の最下段にそれぞれ表示

F-4 初産分娩月齢

・**頭数、月齢分布、平均**
過去 1 ヵ年に報告された初産分娩記録数、初産分娩月齢別頭数、初産分娩月齢の平均で、除籍牛も集計に含む

・**予定平均**
検定日時点で未経産かつ受胎中の全在籍牛が予定日に分娩した場合の分娩月齢の平均

F-5 授精月齢

※ 除籍牛も集計に含む。「繁殖に供さない」の報告のある牛は集計対象外

・**最終授精**
過去 1 ヵ年の授精で受胎した未経産牛の頭数、最終授精時の月齢区分別頭数および授精回数の平均、ならびに受胎に至った最終授精月齢の平均

・**初回授精**
過去 1 ヵ年に初回授精された未経産牛の頭数、初回授精時の月齢区分別頭数および初回授精月齢の平均

G-1 最終授精

・**最終授精**
在籍牛に対する最終授精種雄牛の NTP の平均(国産のみ)、授精(AI)、受精卵移植(ET)および品種別の件数。「性選別」および「ヤング」は乳用種授精の内数であり、「ヤング」は国内ヤングサイアのうち調整交配期間および調整交配期間の終了から 2 年以内に授精された記録の集計値。「合計」列には品種不明の授精と ET も含む

・**年間産子生産**
過去 1 ヵ年の分娩による乳用種および肉用種の生産頭数で、分娩前の最終授精種雄牛と分娩報告時の産子性別により分類される。乳用雌の集計には雌の単子、双子のみを含み、雄には単子、双子、三子以上、フリーマーチンおよび性別不明(つまり雌の単子と双子以外すべて)を含む。雌・雄とも双子であれば 2、三子以上であれば 3 とカウントする

搾乳管理

[1] A4 検定、AT 検定(パーラーAT 検定も含む)

・**ユニット、人数**
AT 検定: 立会時に報告されたユニット台数、搾乳人数
A4 検定: 報告された搾乳回ごとのユニット台数、搾乳人数の平均

・**1 回平均**
AT 検定: 今回、前回搾乳における搾乳開始～終了までの時間の平均
(3 回搾乳であれば前々回搾乳も計算に含める)
A4 検定: 夜、朝の搾乳開始～終了までの時間の平均
(3 回搾乳であれば昼搾乳も計算に含める)

・**1 頭平均**
(1 回平均)×(ユニット)÷(実施牛頭数)

[2] AZ 検定、自動検定
検定方法(AZ、自動)および立会(サンプリング)開始～終了日時を表示

検定成績表（個体検定日成績）

個体成績

表示条件および順序

搾乳牛、日数不足牛 → 乾乳牛の順に表示。同一区分の牛については拡大 4 桁順(重複の場合にはさらに個体識別番号順)で表示

- **バルク影響率**
  (日乳量)×(体細胞数) が農家全体の「(日乳量)×(体細胞数)の和」に占める割合(%)。
  1%未満は非表示
- **最高乳量**
  1 乳期で 2 回以上検定を受けた牛における、日乳量の最高値

集計行

- **経産牛**
  経産牛頭数
- **搾乳牛**
  搾乳牛頭数
- **産次、乳量、体細胞スコア**
  各項目の単純平均
- **体細胞数、乳脂率、蛋白質率、無脂固形分率、MUN**
  各項目の乳量による加重平均
- **デノボ FA、プレフォーム FA、BHB**
  泌乳初期(分娩後 60 日以内)の要注意頭数
- **損失乳量日計**
  各牛の損失乳量の合計
- **今月、前月、前々月**
  各検定月時点での在籍牛の集計

検定成績表（個体累計成績）

個体成績

表示条件および順序

[1] 搾乳牛、日数不足牛 → 乾乳牛 → 除籍牛の順に表示。同一区分の牛については拡大 4 桁順(重複の場合にはさらに個体識別番号順)で表示

[2] 今月検定で完了または経過中の乳期が表示対象となり、前乳期の完了と今乳期の開始が同月に報告された場合には 1 頭の牛の成績を 2 行(前乳期と今乳期)表示する
例) 乾乳なしでの分娩、乾乳と分娩が同月に報告された

[3] 前月またはそれ以前に乾乳した牛の「乳期累計」および「305 日実量または期待量」は、在籍牛、除籍牛とも表示対象外

[4] 今月検定中止牛の 305 日期待量は表示対象外
※ 305 日成績の完成している場合には実量を表示

・**品種**

ホルスタインの場合には空欄、ヤングサイア娘牛については「後検娘」と表示。
それ以外の品種については品種略称を表示

JER ： ジャージー
BSW ： ブラウンスイス
AYS ： エアシャー
GUE ： ガーンジー
MSH ： ミルキングショートホーン
OTH ： その他
HxJ ： ホルスタイン×ジャージー
HxB ： ホルスタイン×ブラウンスイス
HxM ： ホルスタイン×肉用種
CRO ： その他の交雑種

・**乳期累計**

分娩から検定日までの検定日間成績の合計。体細胞スコアの「平均」のみ各検定日の成績の単純平均で、平均体細胞スコアが 5 以上、または体細胞スコア 5 以上回数が 4 以上の場合に「治」マークを表示

・**疾病回数**

分娩後に疾病報告のあった回数。9 以上も「9」と表示

・**健康注意**

分娩後 60 日以内で低デノボ (デノボ FA が 22%未満)または高 BHB (BHB が 0.13mmol/L 以上)に該当した牛に「注」マークを表示

・**305 日実量または期待量**

検定日数 305 日以上の場合には 305 日成績、それ以外の場合には期待量を表示。
補正乳量は 305 日成績(検定日数 300～304 日で乳期完了した場合には乳期成績)または期待乳量から計算する。
なお、期待乳量および期待乳量から計算する補正乳量については十の位を四捨五入

・**牛評**
補正乳量、遺伝評価値(産乳成分)を農家内で A～F の 6 段階に区分したもの。A が最高値で、各区分の境界値は集計行で確認可能

・**乾乳日数**
前乳期の乾乳から今乳期の分娩までの日数

・**今産分娩間隔**
前乳期の分娩から今乳期の分娩までの日数

・**空胎日数**
前乳期の分娩から最終授精までの日数

・**次産分娩間隔**
予定日に分娩した場合の、今乳期の分娩日から次産分娩までの日数

・**管理コード**
日数不: 日数不足
供用不: 「繁殖に供さない」の報告あり
妊鑑予: 授精から検定までの日数が 45～69 日
妊未確: 授精から検定までの日数が 44 日以内
乾予定: 次産分娩予定から 120 日以内
妊　娠: 上記以外で受胎中
長未授: 分娩から 100 日以上授精なし
授適期: 分娩から 70～99 日授精なし
未経産: 授精報告のない未経産牛
記録無: 検定中止牛

・**総搾乳日数**
(除籍牛のみ表示)初産分娩から除籍までの日数から、乾乳期間の日数を除いたもの

集計行

・**牛評コード**
乳量、遺伝評価の A～F の境界値および該当する頭数。境界値は、農家内でそれぞれの項目における平均および標準偏差から計算

・**頭数**
未経産牛以外の産次別頭数
※ 乳期終了と開始の同時報告牛の場合、それぞれの産次に 1 ずつ加える

・**後検娘牛**
国内ヤングサイアを父とする経産牛の産次別頭数

・**体細胞スコア、乳量、補正乳量、通算乳量、乾乳日数、空胎日数**
各項目の単純平均

・**乳脂率、蛋白質率、無脂固形分率**
各項目の乳量による加重平均

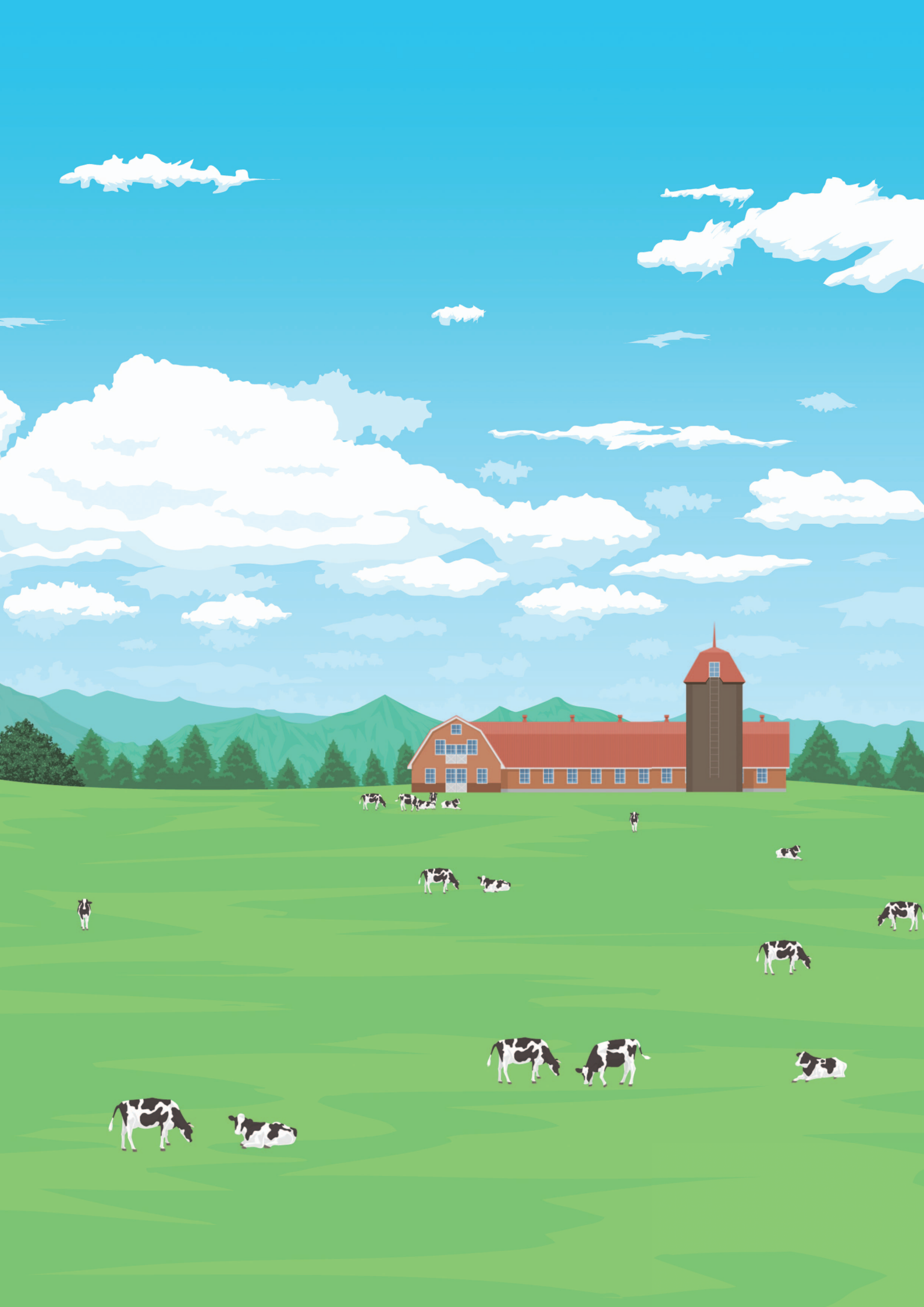
群別帳票におけるデータの区分方法

群別帳票においては、過去の検定年月における所属群の判定方法が項目ごとに異なる:

[1] 各検定日時点の所属群により区分
・直近 13 ヵ月成績
※ 牛群構成-分娩、繁殖管理欄のみ当該繁殖日の直後にある検定時点の所属群を利用

[2] 今回検定における所属群により区分 (今回検定成績のみの集計値)
・検定日牛群構成
・月別予定頭数
・検定日個体分布
・泌乳初期要注意牛
・最終授精

[3] 今回検定における所属群により区分 (過去 1 ヵ年または最近 1 ヵ年の集計、
年間集計のため集計対象期間における群の移動を考慮できないもの)
・年間累計
・検定日成績
・経産牛 1 頭当り年間成績
・年間 305 日成績
・分娩間隔 乾乳日数
・空胎日数
・初回授精 授精間隔
・初産分娩月齢
・授精状況
・年間 産子生産
※ 除籍牛の記録は最終検定時に所属していた群の集計値に含まれる

[4] 除籍前の最終検定における所属群により区分
・年間追加除籍牛、除籍理由

乳用牛長命連産性等向上緊急支援事業
（乳用牛飼養管理技術向上事業）